

広域周遊観光促進のための観光地域支援事業

お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

報告書



一般社団法人四国ツーリズム創造機構

令和4年2月28日（月）

目次	．．．．P1
1.事業概要	．．．．P2
2.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発__コンテンツの選定	．．．．P3
3.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発__コンテンツの調査	．．．．P4～
4.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発__モニターツアーの実施	．．．．P8～
5.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発__モニター参加者からの意見	．．．．P13～
6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発__新規造成コンテンツ	．．．．P15～
7.旅行商品流通環境整備	．．．．P24～
8.受入環境整備__地域セミナー	．．．．P28～
9.受入環境整備__地域セミナーアンケート	．．．．P33～
10.受入環境整備__ガイド育成セミナー	．．．．P37～
11.受入環境整備__ガイド育成セミナーアンケート	．．．．P42～
12.受入環境整備__体験型プログラムガイド実地研修	．．．．P44～
13.受入環境整備__ガイド実地研修アンケート	．．．．P47～
14.事業KPI__アウトプット・アウトカム	．．．．P52
15.総括	．．．．P53

事業名 :広域周遊観光促進のための観光地域支援事業

【事業の目的】

ポストコロナ時代においてもインバウンドには大きな可能性があり、訪日旅行者の長期滞在と消費拡大に向け、これまで誘致しきれていない欧米豪富裕層への上質な観光サービスの提供、これに相応の対価を支払う旅行者の訪日、滞在の促進を図るための環境整備が急務である。このため、コンテンツの磨き上げを中心に、サービスを支える人材の確保・育成や欧米豪富裕層を惹きつける上質な観光体験を実現するための取組みが必要であると考えられる。

日本政策投資銀行の調査によると、訪日旅行全般では安心・安全・衛生面における配慮など感染防止対策の継続が第一ではあるが、四国旅行に期待したい事として、「自然」や「体験」を挙げる割合が訪日旅行全般と比較して高く、四国旅行をする欧米豪富裕層は全国平均と比較して長く滞在する傾向にある。本事業は、欧米豪富裕層を主たるターゲットに置き、認知度が高い「四国遍路」、観光地としての価値を高める効果が見込める「SDGs への取組」、ターゲット層への訴求力が高い「アドベンチャーツーリズム」を掛け合わせた、体験型・滞在型観光コンテンツの造成・磨き上げを行う。併せて、ターゲット層が求めるフレキシブルな特別対応ができるガイド人材の育成、ターゲット層を顧客に持つ海外旅行会社が興味を引く旅行商品の見せ方に留意した上で、長期滞在や高単価設定の旅行商品を造成・販売することにより、地域経済の貢献に繋げることを目的とする。

対象市場：欧米豪（フランス、アメリカ、オランダ、ドイツ、デンマーク、オーストラリア）

誘客対象：欧米豪の中間所得者階級以上の富裕層の少人数グループ、ファミリー層

実施主体：一般社団法人四国ツーリズム創造機構

連携先：徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国内地域連携DMO、四国八十八箇所霊場会、百十四経済研究所

【事業内容】

(1) 体験型・滞在型コンテンツの企画・開発（8コンテンツ）

①コンテンツの選定	2021年6月15日～11月30日	選定・調査実施
②モニターツアーの実施	2021年11月9日～12日	招請者2名にて実施
③旅行商品の企画造成	2021年11月30日～2022年1月15日	4商品造成実施

(2) 旅行商品流通環境整備 2022年2月14日より4商品掲載 OTA（VIATOR）

(3) 受入環境整備

①地域セミナー	2021年7月21日	講演会実施（111名参加） 会場参加及びオンライン形式のハイブリッド開催
②ガイド育成セミナー	2021年9月26日	セミナー実施（7名参加） 会場参加
③体験型プログラム等のガイド実地研修	2021年11月20日	9名参加
	11月28日	8名参加
	12月19日	8名参加
	2022年 1月10日	8名参加
		計4回／重複者を除くと計18名参加

2.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

__コンテンツの選定

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

コンテンツの選定

ターゲット層である欧米豪富裕層向けにコンテンツを開発するために、これまで造成してきたコンテンツの活用や更なる磨き上げに向け、下記の手順で実施をした。

- ①コンテンツ候補の絞り込み 2021年6月に実施。
- ②コンテンツ候補の現地調査 2021年7～11月に実施。
- ③モニターツアーの実施 2021年11月に実施。
- ④コンテンツの造成 2022年1月に造成。
- ⑤旅行商品への活用 2022年2月から販売開始。



コンテンツ候補の絞り込み時には、欧米豪富裕層の価値観を理解した専門家として四国DMC【DiscoverShikoku】マネージングディレクター：ブレクト・ウィリアム・ショーン氏との協議を進め、コンテンツ候補を絞り込んだ。

ブレクト・ウィリアム・ショーン氏

欧米豪富裕層旅行者向け四国DMC「Discover Shikoku」マネージングディレクター兼プロカメラマン。アメリカ出身。30年間以上在日しており、日本の文化・生活や様々な観光地に精通。2016年から四国に在住し、世界中の富裕層観光客への旅行企画・提案を行い欧米豪富裕層旅行者に対して自らガイドも行っている。欧米豪富裕層の価値観の理解、観光分野における環境問題についての知識も有する。富裕層向け商談会ILTMカンヌにも出店し、ラグジュアリーDMCとの人脈も豊富。

●絞り込み候補

【香川県】

- ・四国霊場第81番札所白峰寺～82番札所根来寺五色台トレイル
- ・四国霊場第80番札所国分寺～鬼無町での伝統文化盆栽と伝統工芸体験
- ・四国霊場第83番札所一宮寺～84番札所屋島寺新たな遍路ルートとサイクリング体験
- ・環境汚染からの再生した島「豊島」でのアート&アドベンチャートラベル

【徳島県】

- ・四国霊場第12番札所焼山寺を中心とした遍路古道とシェフ提供の料理開拓
- ・四国霊場第20番札所鶴林寺と上勝町・月ヶ谷温泉のSDGs&アドベンチャートラベル
- ・四国霊場第23番札所薬王寺遍路道と海陽町での地域文化体験

【高知県】

- ・四国霊場第38番札所金剛福寺～39番札所延光寺を結ぶ新たなルートと大月柏島でのアドベンチャートラベル
- ・四国霊場第37番札所岩本寺及び窪川エリアでの地域文化
- ・柏島の里海「森・川・海」の繋がり体験を通じて学ぶSDGs
- ・梼原町建築アートと伝統工芸（和紙）
- ・四国霊場第38番札所金剛福寺奥の院遍路道トレイル

【愛媛県】

- ・四国霊場第44番札所大宝寺～45番札所岩屋寺を中心とした遍路古道と久万高原での地域文化体験
- ・四国霊場第59番札所国分寺～60番札所横峰寺を中心とした遍路古道と周辺での地域文化体験
- ・四国霊場第43番札所明石寺～44番札所大宝寺及び大洲市・内子町での地域文化活動
- ・しなまみ海道（今治市～大三島～来島）でのアドベンチャートラベル
- ・八幡浜港から四国霊場第43番明石寺への遍路古道トレイル

上記コンテンツ候補への絞り込みを行い、コンテンツ開発候補となる現地調査を実施した。

3.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

__コンテンツの調査

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

コンテンツの調査

絞り込みを行ったコンテンツ候補に対して、現場調査を実施した。
現地調査の際には、欧米豪富裕層の価値観を理解した専門家として、四国DMC【DiscoverShikoku】
マネージングディレクターであるブレクト・ウィリアム・ショーン氏及び、各コンテンツ候補地の
地域住民とともに調査を実施した。

【コンテンツ調査訪問先】

2021年 6月 徳島県徳島市：とくしま旅づくりネット
徳島県鳴門市：サイクリングロード、撫養通り、金刀比羅宮参道
海部郡海陽町：ラグジュアリーホテル候補、遍路道（古道）、八坂神社、轟神社
勝浦郡上勝町：ゼロウェイストセンター、HOTEL WHY、BREWERY RISE&WIN、
月ヶ谷温泉、Kinof

2021年 7月 高知県高知市：土佐組子
高知県南国市：田野屋塩二郎（塩）
吾川郡仁淀川町：BLUE BREW（クラフトビール）
高岡郡梶原町：かみこや（和紙）、隈研吾建築群、匠鍛冶影浦工房
幡多郡黒潮町：海辺のガラス工房キロロアン

2021年 7月 愛媛県内子町：天神産紙工場
愛媛県西予市：こけむしろ
愛媛県宇和島市：宇和島米博物館、木屋旅館
愛媛県東温市：滑川渓谷

2021年 8月 徳島県鳴門市：金刀比羅宮（撫養町）
徳島県海陽町：轟の滝、轟神社、城満寺、地元スーパー大黒、電動自転車
徳島県吉野川市：アワガミファクトリー、電動自転車、大島酒造

2021年 9月 香川県高松市：和三盆「豆花」、香川漆器「87.5」・中田漆器、庵治石丁場、
屋島麓、NAGARE美術館、仏生山～三木町サイクリングロード

2021年11月 愛媛県大洲市：ニッポニア、大洲城、大洲町並み、少彦名神社
愛媛県今治市：仙遊寺、大山祇神社、来島海峡

現地調査の際には各地・各コンテンツの地域住民と同行し下見を実施した。

3.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

コンテンツの調査

コンテンツの調査

【調査の様子】

2021年 6月 徳島県徳島市：とくしま旅づくりネット
徳島県鳴門市：サイクリングロード、撫養通り、金刀比羅宮参道
海部郡海陽町：ラグジュアリーホテル候補、遍路道（古道）、八坂神社
勝浦郡上勝町：ゼロウェイストセンター、HOTEL WHY、BREWERY RISE&WIN、
月ヶ谷温泉、Kinof



とくしま旅づくりネット サイクリングロード 金刀比羅宮参道 遍路道古道 ラグジュアリーホテル候補



ゼロウェイストセンター HOTEL WHY BREWERY RISE&WIN 月ヶ谷温泉 近隣アクティビティスポット

【コンテンツ調査時の有識者意見】

- ・かつて徳島から京都への海上交通の拠点であった鳴門市土佐泊港の歴史ストーリーは伝わりやすいかもしれないが、単体訴求では弱く、何かとの結び付けが必要。
- ・薬王寺～最御崎寺の遍路道には今も古道が残り、古道からの海眺望や海でのアクティビティ（sup、カヤック等）を繋ぎ合わせて、自然体験を取り入れられないか。
- ・町全体が環境問題に取り組む上勝町では、ゼロウェイストセンターでの分別の様子や取組み背景のストーリー説明を聞き、ホテルに宿泊し実体験に触れることで環境問題に関心のある層に響く。
- ・近隣の月ヶ谷温泉での廃棄木材を再活用し、燃烧させボイラーに活用する独自で行う環境問題への取組みを知ることで、よりこの地域の知名度向上に繋がるのではないか。

【調査の様子】

2021年 7月 高知県高知市：土佐組子 高知県南国市：田野屋塩二郎（塩）
吾川郡仁淀川町：BLUE BREW（クラフトビール）
高岡郡桝原町：かみこや、隈研吾建築群、匠鍛冶影浦工房
幡多郡黒潮町：海辺のガラス工房キロロアン



土佐組子 田野屋塩二郎 かみこや 隈研吾建築群 ガラス工房キロロアン

【コンテンツ調査時の有識者意見】

- ・その地域ならではの伝統である土佐組子の現場を見て体験することで、旅行者と地域との関わりが増す。作品のビジュアル的にも印象が良い。
- ・天然素材や自然環境の中での塩づくりはターゲット層には響く。作る体験もよいが、その塩を使うことで満足度が増す。塩単品ではなく、他の何かと結び付ける必要があるのではないか。
- ・和紙×アートの要素があり、伝統文化の土佐和紙紙漉き体験は特別体験となる。スタッフの外国人のストーリーも興味深い。

3.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

__コンテンツの調査

コンテンツの調査

【調査の様子】

2021年 7月 愛媛県内子町 : 天神産紙工場
愛媛県西予市 : こけむしろ
愛媛県宇和島市 : 宇和島米博物館、木屋旅館
愛媛県東温市 : 滑川渓谷



天神産紙工場



こけむしろ



宇和島米博物館



木屋旅館



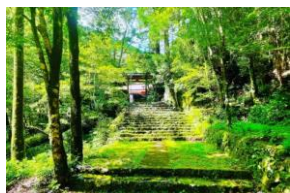
滑川渓谷

【コンテンツ調査時の有識者意見】

- ・天神産紙工場は紙漉き体験も良いが、純和風な建物などのロケーションが面白い。
- ・宇和島米博物館自体が日本の古い旧小学校校舎の再利用の着眼点は面白いが、中での黒板アートや雑巾掛け体験は好みが分かれる。
- ・内子町、宇和島城下町の古い町並みと遍路の歴史を繋ぐストーリーは効果的である。

【調査の様子】

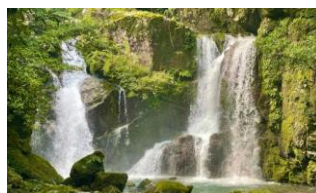
2021年 8月 徳島県鳴門市 : 金刀比羅宮（撫養町）
徳島県海陽町 : 轟の滝、轟神社、城満寺、地元スーパー大黒、電動自転車
徳島県吉野川市 : アワガミファクトリー、電動自転車、大島酒造



轟神社



轟の滝



電動自転車



城満寺



地元スーパー大黒



大島酒造

【コンテンツ調査時の有識者意見】

- ・轟の滝、轟神社はロケーションがよい。また地域の住人との触れ合いができる環境であるためターゲット層に伝わりやすい。単に景色を見るだけでなく、地域住人からバックストーリーが聞ける点が重要である。
- ・民家に囲まれたロケーションで地元の人に溶け込んだ一般客として、地元のスーパーで買い物ができる体験もよい。こだわりの品揃えは旅行者の関心をそそる。
- ・山に囲まれたロケーションにある大島酒造での梅酒試飲体験もよいが、このロケーションに旅行者だけのためにシェフを手配し、特別に食事を提供できる環境は素晴らしい。

3.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

__コンテンツの調査

コンテンツの調査

【調査の様子】

2021年 9月 香川県高松市：和三盆「豆花」、香川漆器「87.5」・中田漆器、庵治石丁場、屋島麓、NAGARE美術館、仏生山～三木町サイクリングロード



和三盆・豆花



中田漆器



庵治石丁場



NAGARE美術館



サイクリングロードからの眺望



屋島麓

【コンテンツ調査時の有識者意見】

- ・和三盆、香川漆器という地域に根付く伝統文化、伝統工芸体験は伝わりやすく興味深い。
- ・庵治石の丁場見学は一般的ではなく特別感がある。半面、ヘルメットや細かな説明が長すぎる。
- ・知れ渡った遍路道ではなく、旅行者のためだけに特別に開拓するサイクリングロードの体験は旅行者に特別感が伝わり、高い満足を得ていただける。

【調査の様子】

2021年11月 愛媛県大洲市：ニッポニア、大洲城、大洲町並み、少彦名神社
愛媛県今治市：仙遊寺、大山祇神社、来島海峡



ニッポニア



大洲市内酒店



大洲市内ホテル予定地



少彦名神社



来島海峡



今治造船



大山祇神社



仙遊寺



地元の農家カフェ

【コンテンツ調査時の有識者意見】

- ・ニッポニアホテルを拠点に、大洲市内の飲食店や町歩きなど、量から質へ方向転換を選んだこの地域は旅行者の満足に繋がる環境が進んでいる。地域活動自体がサステナブルであり、関心度の高いターゲット層に響く素材が多い。
- ・来島海峡界隈の景色、サイクリング体験、大山祇神社や地元の農家カフェ、小島の要塞跡地など、ターゲット層が興味を抱くストーリー作成が可能であり、このエリアもまたデスティネーション先に選ばれる地になる。

4.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

モニターツアーの実施

モニターツアーの実施

開発されたコンテンツの課題抽出のため、誘客対象への訴求の観点から、体験型・滞在型観光コンテンツの企画・開発・ガイド等に対する助言ができる外国人専門家として、英語圏のネイティブ人材及びターゲット層を顧客に持つ旅行会社人材を招請し、モニターツアーを実施した。



招請者① PEAPLE MAKE PLACE/岡原 徹氏

東京を拠点とし、欧米豪市場での富裕層を顧客に持つ訪日旅行を手掛けるDMC。岡原氏は訪日旅行を実現させるための、富裕層顧客が求めるあらゆる要望に対応するための手配や仕入れ業務を中心に担う。岡原氏と宿泊施設やコンテンツの提供を行う各事業者との繋がりにより、旅行者となる欧米豪富裕層の要望に応える提案が可能となる。



招請者② U N J A P A N/Pierre Verneet氏

フランス出身・京都在住。京都・奈良を中心に、陶芸家や陶磁職人、茶道家との繋がりを持ち、世界の富裕層に向けてアーティスト作品の情報発信と販売を行っている。ラグジュアリー分野において、知名度の高い事業者であり、日本文化の特別体験を世界に発信・受入対応を実施している。

【モニターツアー内容】

日付	訪問地域	訪問先	内容
11/9 (火)	徳島県上勝町	ナルミファーム	自然農園見学、ハーブ収穫体験、ティータイム
		ポールスター	地元食材を利用した昼食とレストラン見学
		K i n o f	自然に戻る天然糸・製品取組み見学
		ゼロウェイストセンター	地域でのゴミ分別等環境問題取組み説明
		HOTEL WHY	宿泊体験、ゴミ分別体験
		古民家 蔵	出張シェフによるオーガニック素材特別夕食体験
11/10 (水)	徳島県上勝町	ホテル	朝食・ゴミ分別体験
	徳島県名西郡	12番札所焼山寺	遍路古道ウォーキング・遍路体験
	徳島県吉野川市	moku moku note Bakery&Cafe	オーガニック素材のパンを用いた昼食体験
		眞鍋自転車	暮石八幡神社〜阿波紙ファクトリーサイクリング
		阿波紙ファクトリー	伝統産業阿波紙を活用した体験
		大島酒造	民家活用による梅酒蔵見学と梅酒試飲
		たねのや	廃校再利用の宿泊体験と出張シェフによる夕食
11/11 (木)	香川県高松市	サイクリング	仏生山町法然寺〜八栗寺までの遍路サイクリング
		カフェそらのいろ	サイクリング途中のオーガニックレストラン
		八栗ケーブル・八栗寺	レトロケーブルカー乗車と遍路体験
		庵治港〜豊島家浦港	チャーター船による海上移動
	小豆郡豊島	海のレストラン	瀬戸内海眺望と富裕層向けレストランでの夕食
		結-YUI-	古民家の宿宿泊体験
11/12 (金)	小豆郡豊島	サイクリング	結〜棚田〜豊島美術館までのサイクリング
		豊島美術館	アート見学
		唐櫃港〜高松港	チャーター船による海上移動
	香川県高松市	ファームキッチン納屋	オーガニック食材による昼食
		ちよだ製作所	食材廃棄物からエネルギー創出の再活用施設見学
		ロイヤルファームアカマツ	牧場見学、意見交換
		高松空港	意見交換、解散

4.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

__モニターツアーの実施

モニターツアーの様子

日付	訪問地域	訪問先	内容
11/9 (火)	徳島県上勝町	ナルミファーム	自然農園見学、ハーブ収穫体験、ティータイム
		ポールスター	地元食材を利用した昼食とレストラン見学
		Kinof	自然に戻る天然糸・製品取組み見学
		ゼロウェイストセンター	地域でのゴミ分別等環境問題取組み説明
		HOTEL WHY	宿泊体験、ゴミ分別体験
		古民家 蔵	出張シェフによるオーガニック素材特別夕食体験



ナルミファーム
農園説明



ナルミファーム
ハーブ摘み取り



ナルミファーム
ハーブティ体験



ナルミファーム
集合写真



ポールスター
外観



ポールスター
オーガニックランチ



Kinof
事業説明



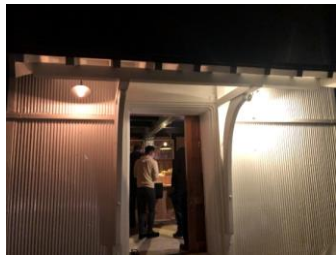
Kinof
素材循環見学



ゼロウェイストセンター
ゴミ分別取組み説明



ゼロウェイストセンター
分別説明



古民家 蔵
外観



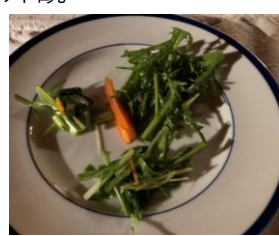
古民家 蔵
夕食の様子



古民家 蔵
出張シェフ食材説明



ディナー
コンセプト



古民家 蔵
出張シェフによる提供料理



4.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

__モニターツアーの実施

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

モニターツアーの様子

日付	訪問地域	訪問先	内容
11/10 (水)	徳島県上勝町	ホテル	朝食・ゴミ分別体験
	徳島県名西郡	12番札所焼山寺	遍路古道ウォーキング・遍路体験
	徳島県吉野川市	Moku moku Bakery	オーガニック素材のパンを用いた昼食体験
		眞鍋自転車	暮石八幡神社～阿波紙ファクトリーサイクリング
		阿波紙ファクトリー	伝統産業阿波紙を活用した体験
		大畠酒造	民家活用による梅酒蔵見学と梅酒試飲
		たねのや	廃校再利用の宿泊体験と出張シェフによる夕食



ゼロウェイストセンター
ゴミ分別体験



焼山寺
遍路古道体験



Moku moku Bakery
外観



Moku moku Bakery
食事の様子



Moku moku Bakery
オーナーおもてなし



眞鍋自転車
サイクリング



阿波紙ファクトリー
施設見学



阿波紙ファクトリー
ハガキ作成体験



大畠酒造
施設説明と梅酒試飲



たねのや
外観



たねのや
出張シェフによる提供料理



4.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

__モニターツアーの実施

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

モニターツアーの様子

日付	訪問地域	訪問先	内容
11/11 (木)	香川県高松市	サイクリング	仏生山町法然寺～八栗寺までの遍路サイクリング
		カフェそらのいろ	サイクリング途中のオーガニックレストラン
		八栗ケーブル・八栗寺	レトロケーブルカー乗車と遍路体験
	小豆郡豊島	庵治港～豊島家浦港	チャーター船による海上移動
		海のレストラン	瀬戸内海眺望と富裕層向けレストランでの夕食
		結-YUI-	古民家の宿宿泊体験



法然寺
参拝の様子



法然寺
サイクリング開始



田園風景＆遍路道
サイクリング



サイクリング
途中の神社



カフェそらのいろ



サイクリング
途中の古墳



サイクリング
途中の瀬戸内眺望



八栗ケーブル



八栗寺
参拝の様子



庵治港から豊島区間の
チャーター船



豊島・海のレストラン
夕食の様子



古民家民宿「結」
外観と室内の様子



4.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

__モニターツアーの実施

モニターツアーの様子

日付	訪問地域	訪問先	内容
11/12 (金)	小豆郡豊島	サイクリング	結～棚田～豊島美術館までのサイクリング
		豊島美術館	アート見学
		唐櫃港～高松港	チャーター船による海上移動
	香川県高松市	ファームキッチン納屋	オーガニック食材による昼食
		ちよだ製作所	食材廃棄物からエネルギー創出の再活用施設見学
		ロイヤルファームアカマツ	牧場見学、意見交換
		高松空港	意見交換、解散



結
ガイドによる提供朝食



豊島
家浦港近隣散策



豊島
サイクリング



豊島
棚田眺望



豊島
サイクリング



豊島
豊島美術館



豊島
心臓のアーカイブ



豊島唐櫃港～高松港
チャーター船



チャーター船
船内の様子



ファームキッチン納屋
食材説明



ファームキッチン納屋
オーガニックランチ



ちよだ製作所
事業説明



高松空港
意見交換



5.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

モニターツアー参加者からの意見

モニターツアー参加者からの意見

体験型・滞在型コンテンツの企画・開発に向け、専門家を招請したモニターツアーを実施し、モニター実施後に招請者との意見交換を行った。

各コンテンツに対する指摘・改善内容及び対応状況は以下の通り。

施設	指摘事項 (P：PMP岡原氏、U：UNJAPAN Pierre氏)	改善点
上勝町全般	<p>P・以前訪れたことはあったが、表面的な部分（ゴミについての取組み）など、各事業者はまだまだ富裕層向けの対応に慣れていないが、ノウハウを伝えることができればすぐに富裕層に対応できる。</p> <p>U・田舎散策に加え他のアクティビティが必須。きれいな道があればそこを散策するのもよい。</p> <p>U・こんな田舎の山奥でSDGsに関する先進的な取り組みをしているのは面白い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも各事業者と連携し、富裕層の受け入れ態勢など情報交換を行うことでより質の高い受入環境を構築していくようナルミファーム、Kinof、ゼロウェイストセンターへ促した。 ・アクティビティー（トレッキング）を追加した。
ゼロウェイストセンター	<p>P・宿泊施設にベッドがないのはNG。</p> <p>P・朝食は簡素すぎ、欧米豪富裕層には不向き。</p> <p>P・ゴミ分別体験は強制されている感じがするため、体験が必須ではなく、希望者のみ体験対応とする必要がある。</p> <p>U・欧米のお客様はみんながやっていることでもやりたくないものはやらないので、そこはガイドがうまく仲をもっていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊先の設備投資は現在難しいため、宿泊先を変更した。（スノーピーク小松島） ・ゴミセンターで上勝町の取組みについて紹介する形に変更した。
ナルミファーム	<p>P・最初にナルミファームについての説明用紙を渡して説明してくれたが必要がない。</p> <p>P・オーガニックファームは整備された環境ではないため、ゲスト用に長靴が必要。</p> <p>U・滞在時間は少なくてよい。</p> <p>U・ハーブについての説明を詳しくしたほうがよい。（どういう効果があるのか）そうすることにより、多様なお客様の好みに対応でき、旅行者が自分たちで楽しむことができるため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者と環境整備を進める段取りをしたが、ナルミファームは1名で運営しているため人手が不足、短期間で十分に整備ができないため、今回は旅行商品から外した。 ・上勝の話の流れの中でガイドが紹介し、興味があればナルミファームを見に行く形で対応できる体制を整えた。
Kinof	<p>P・話を聞くと、上勝町のSDGsの繋がりなど理解が深まるので非常によい。</p> <p>P・案内場所（いどり事務所）の環境がよくなった（一般的な事務所）ため、ゼロウェイストやレストランポールスターなどで話を聞く方がよい。</p> <p>U・Kinofで作られている工場見学などができると更に良い。（コロナ禍では難しいと思うが）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロウェイストまたはレストランポールスターなどで、話をしてもらうように調整した。 ・工場については、現在コロナ禍の中で即答ができないという判断になった。
蔵（夕食）	<p>P・食事場所も非常に良かった。</p> <p>P・シェフ（ミーカ・フラン氏）による事前の食材説明は最小限でよい。今回の説明は長すぎた。</p> <p>U・トイレが汚い。（食事場所のトイレが汚いのはNG）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価がよいため大幅な変更なし。 ・シェフにはお客様から質問があれば答える形式に変更を要請した。 ・ミーカ氏にトイレをきれいにしてもらうよう依頼した。
moku moku note Bakery&Cafe	<p>P・パンは美味しいが、オーナーの話は自分の考えばかり説明しており、お客様の反応が見えていない。</p> <p>P・現地にあまり行く意味がない。</p> <p>U・三線の演奏はオーナー自己満足だけなので不要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・moku moku note Bakery&Cafeのパンを事前予約・配達の手配を行い、店舗には行かずに、美郷の別の場所で夕食などで利用するように調整した。

5.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

モニターツアー参加者からの意見

モニターツアー参加者からの意見

施設	指摘事項	改善点
焼山寺	P・焼山寺のお寺は非常にきれいなので、訪れる場所としてはよいが、今回のトレッキングコースとしては陰しく、難易度が高い。 U・転倒等のトラブルが起きた時に対応が難しい。	・トレッキングコースの難易度を下げて調整した。
美郷サイクリング	P・電動自転車は非常に良かった。 P・ルートが単純すぎ（大通りやトンネルはNG）、自転車のガイドからの案内が不十分だった。 U・イヤフォンガイドなどがあったほうがよい。	・サイクリングガイドには、地域のストーリーや生き立ちなどを話してもらうように促した。 ・コースを開拓したいが事業者とのスケジュールが合わなかったため、今回の商品には、掲載しないようにした。 ・今後、サイクリングコースを検討したい。
阿波紙ファクトリー	P・地域産業に触れ、自分だけの作品が作れる最高の体験だった。 U・写真映えもするし、美しいかった。 U・体験は子ども向けかと思ったが楽しかった。	・特に大きな変更はないが、体験する内容を再度確認して2～3種類選べるように調整する。
大島酒造	P・非常に良かった。 P・たくさん土産もいただけ、オーナーの雰囲気良く、親しみがあり特に改善点はない。 P・リサイクルで作った樽などもありSDGs要素も垣間見たのは非常に良かった。 U・梅酒も美味しかった。 U・訪問時にいつでもオーナーに対応してほしい。 U・このオーナーがいるから安心して訪問できる。	・今回モニターツアーでは夕食をこの場所（大島酒造の庭先）で提供する予定だったが、雨のため場所を変更して対応した。 ・雨天時の対応を再度確認し商品化に結びつける。
たねのや	P・出張シェフによる食事は楽しい時間を過ごせた。 P・宿泊先としては利用できない。 U・運動場でアクティビティをやってもいいかもしれない。 U・夜のライティングペイントなどあってもいいかもしれない。 U・何かのついでに、気軽に誰でもできるアクティビティがあると良い。	・アクティビティについては、事業者と調整中。
仏生山～八栗寺サイクリング	P・コース最高！ P・一般的に知られていないルートを巡るということは、旅行者の為にだけに特別に提供されており満足度が高い。 P・自転車が良くなかった。（故障などがあり） U・他の都市にないサイクリングだったので商品化をして販売できるイメージができた。	・自転車の手配先として今回香川県で利用した事業者から、徳島でのサイクリングモニターツアーで利用した事業者へ変更した。
café そらのいろ	P・メニューのバリエーションは少ないが、施設もきれいだし、食事もよかった。	・特に変更なし。
八栗寺	U・八栗ケーブル、などもあり楽しかった。	・特に変更なし。
海のレストラン	U・食事もロケーション良かった。	・特に変更なし。
チャーターボート	P・できればもう少しランクの高いボートが希望。 U・ライフジャケットは必須。	・別の事業者が利用しているチャーターボートを調整した。
豊島サイクリング	P・ヘルメットは必要。 U・宿からサイクリングをスタートした方がよい。	・ヘルメットが常備しているサイクリング事業者を使うように調整した。
宿 結	P・宿泊先としては良い。 P・朝食のアレンジがあったほうがよい。	・現状朝食については提供されていない為、オーナーと調整中。
ちよだ製作所	P・会社としての取組みはよい。 P・特別な体験はないが、素晴らしい話だった。 P・時間があれば途中で訪問するのはよいと思う。 U・SDGsの商品として盛り込んでもよいと思う。	・短時間で案内できるよう事業者と調整した。

6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ①

愛媛県 西予市

四国遍路や参勤交代の歴史を辿る峠道ハイキングツアー

九州方面からの四国遍路の巡拝者が、八幡浜から一番近い札所・第43番明石寺との間を往来する際に利用した峠越えの「遍路道」で、江戸時代には宇和島藩が「参勤交代」の際にも利用したほか、古くから庶民の生活道として使用されてきた歴史的背景が評価され、2017年には国史跡に指定、2019年には「歴史の道百選」に選定された「八幡浜街道笠置峠越」をガイドとともに巡るハイキングツアー。

体験の流れ

ハイキングでは、最寄りの駅 双岩駅から笠置峠古道登山口へ。順に「籠立て場」「牛神様」「峠の地蔵」「峠の茶屋」「笠置峠古墳」「遍路墓」を案内する。「籠立て場」は参勤交代の駕籠(かご)を置き、従者たちを休ませた場所とされており、「笠置峠古墳」は4世紀前後に築かれた前方後円墳で、当時の王の墓とされている。「遍路墓」は四国遍路の道半ば、この周辺で亡くなった巡拝者の墓である。

また情緒あふれる町「宇和町卯之町の町並み」の散策を行う。この町並みは宇和島藩の在郷町・宿場町として栄えていた佇まいを、現代にとどめる情緒ある町並みであり、白壁や格子窓などが特徴の江戸中期から昭和初期の建築物が軒を並べ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。伝統的な和風建築のなかにアーチ窓や赤い屋根の教会などの洋風建築もあり、時代の移り変わりの景色を楽しむことができる。最終的に四国八十八ヶ所43番札所明石寺を目指す、全長約14.0kmの道のりを歩くコース。

コンテンツ料金

販売価格（税抜） ※一般公示価格

55,000円／1名
23,000円／2名～4名 20,000円 5名以上

価格に含まれるもの

ガイド代・送迎タクシー代・昼食代・遍路装束レンタル代・保険代

関連するSDGs

- 目標12 持続可能な生産消費形態を確保する。
(ターゲット8) 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
- 目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
(ターゲット4) 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。



6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ②

高知県 梼原町

原料処理からの伝統的手漉き土佐和紙作り本格体験ツアー【一日限定1組】

日本三大和紙のひとつとされ、1000年以上の伝統を誇る「高知の土佐和紙」。その産地である高知県の町や土佐市には、清く澄んだ川が流れ、良質の和紙を生み出してきた。しかし、伝統工芸である土佐和紙も時代の変化により、受け継ぐ人は減少傾向となり、明治時代には県内で7000軒以上あった和紙の工房は機械化や西洋紙の台頭などの影響を受け、今では十数軒ほどまで減少している。また和紙の原料となる楮や三桠を栽培する農家は激減しており、このままではあと十年も経たないうちに良質な原料が失われる可能性があるという瀬戸際の状況である。

「伝統を受け継ぎ、伝統技術を守っていく」ここかみこやのアウトエンボーガルト家族が土佐和紙の本場で原料栽培からの伝統手すき和紙作りをたくさんの方々と共有したいと思い、四万十川源流のきれいな水が流れるこの場所でもかみこやを始めて約40年。

和紙の原料は全て無農薬・無肥料で自家栽培し、全ての工程において一切の薬品や機械を使わず紙を漉いている。ここではの自然環境も含めて和紙の本質をまるごと体験することができる。

体験の流れ

原料となる水の豊かさを知ってもらうため水源地まで約1時間のハイキングを実施。その後原料処理からの伝統的手漉き和紙作りを体験できる6時間のワークショップを行う。

指導は高知県より土佐の匠に認定された手漉き和紙作家ロギール・アウトエンボーガルト氏または息子・陽平氏が務める。高知県産の楮のみを使った機械や薬品を一切使わない伝統製法での紙作りを原料処理から行い、里山の環境も含めて土佐和紙の本質をまるごと体験できるコンテンツ。

- ・紙の大きさ…34cm×47cm、21cm×29.7cm
- ・お一人様10枚程度作成
- ・行程…原料となる水の水源地まで往復約1時間ほどハイキング
原料と和紙についての話→昼食→畑、設備の見学→ちりとり→叩解→漉く→プレス→板干し
- ・一日限定1組

コンテンツ料金

販売価格（税抜）
※一般公示価格

45,000円/1名
25,000円/2名～4名 20,000円5名以上

価格に含まれるもの

ガイド代・送迎タクシー代・昼食代・体験代金・保険代

関連するSDGs

■目標12 持続可能な消費生産形態を確保する。

(ターゲット2) 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

■目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

(ターゲット4) 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実にを行う。



6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ③

香川県 高松市

Every Day Takamatsu - 高松の日常を非日常に感じるお遍路サイクリングツアー

四国八十八ヶ所83番札所一宮寺から84番札所屋島寺へのルートは、街中を通るコースが定番であるが、日常的に車通りも多く、他の町並みと同じようなイメージである。しかし、普段とは違う道のりを歩けば、香川県の地元にはしかないものを探し出すことができる。田園風景、田舎道、小川、山、神社仏閣など毎日見慣れている風景にちょっと工夫をするだけで宝物の風景に生まれ変わる。

仏生山町は香川県高松市の中心街から約8kmほど南に位置する。江戸時代の初期に高松藩の菩提寺である法然寺門前町として栄えた地域で、今でも一部の歩き遍路客がここへ参拝に訪れる。当時の建物が少しだけ残った仏生山町の気品ある古い町並みを横目に、“昔ながらの田園風景”が広がる地域をサイクリングで進む。
“おむすびのような独立峰が点在する讃岐平野”中心部はどこまでいっても穏やかな空が広がる風景。
千年を超える時間の中で、人々が心の拠り所にして集っていた点在する神社仏閣に立ち寄りながら、高松が誇る景観「五剣山・八栗寺」を目指す。全長約23kmのルート上には、人々の暮らしを感じられるポイントが随所にちりばめられ、バランスの取れたルートになっている。サイクリングツアーを通じて、地元住民にとってはごく普通の日常、香川県ならではの暮らし風景を感じることができる。

体験の流れ

サイクリングを通じて、地元で採れた野菜が並ぶうどん屋、田んぼ、神社仏閣など、ガイドブックには載っていない高松市街の日常に触れられるのがツアーの大きな醍醐味。サイクリングはスローペースで家族連れも楽しめる構成となっており、経験豊富なガイドが案内を行う。

仏生山法然寺→實相寺→清水神社→眞楽寺→蓮勝寺→蔵王神社→川西神社→池戸八幡神社→あづまうどん→前田城跡→久本古墳→荒神社→妙覚寺→神節王墓→八栗ケーブル→八栗寺 約23km程度 時間 6時間程度
ゴミの削減に向けて、ウォーターサーバーを準備。ツアー前後で自由にご利用いただける。
不要なペットボトルゴミを出さないためにも、マイボトルの持参を推奨している。参加者には環境問題に触れる協力を要請。

コンテンツ料金

販売価格（税抜）
※一般公示価格

30,000円/2名 25,000円/3名～4名 20,000円 5名以上

価格に含まれるもの

ガイド代・併走車代・送迎タクシー代・昼食代・E-bikeレンタル代金・保険代、飲料代、八栗ケーブル代金

関連するSDGs

■目標7 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。
(ターゲット3) 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

■目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする。
(ターゲット4) 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。



8.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

新規造成コンテンツ

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

コンテンツ③

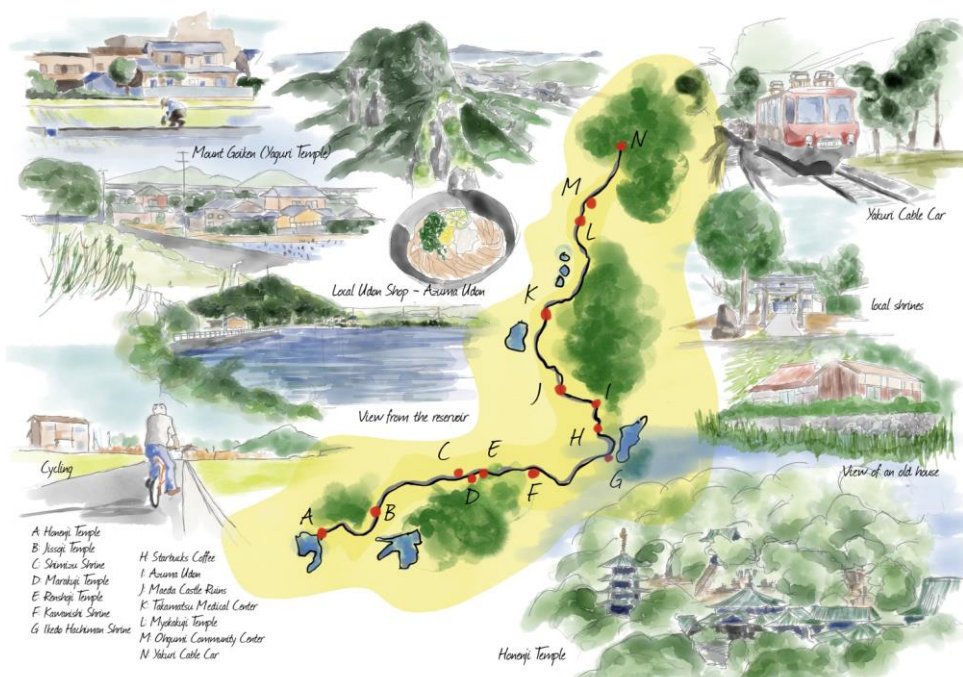
香川県 高松市



現在の遍路道定番ルート

四国遍路道指南（しこくへんろみちしるべ）より

仏生山遍路道旧ルート



サイクリングイメージMAP

6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ④

徳島県 吉野川市

美しい郷でできたての梅酒、捕れたての徳島産の野菜を使ったガストロノミーツアー

美郷は吉野川から少し入った静かな里山で、梅の花、高開の石積み、シバザクラ、国指定の天然記念物・ホタルなど美しい自然が自慢の地域。

山里の知恵は「食」にもっとも色濃くあらわれる。冬を越すために、発酵や乾燥保存、雪中保存などさまざまな工夫が重ねられ、それはいまでも美郷に息づいている。食文化には、ここにしかない「異日常」が隠されている。この地域は梅酒の産地であり、おいしい野菜も採れ、山には春になれば山菜、秋はキノコが豊かに実る。

山里の食文化をまるごと感じて、洗練された料理で味わうのが美郷ガストロノミー。山の恵みを採りにガイドといっしょに里山へ。何も考えずにただ野山に向き合うと、いつのまにか無心になっている自分に気づくでしょう。いつもとは違った景色や空気は、きっと身も心もすっきりさせてくれるはず。収穫後は、ゆったりとくつろげるあなただけの特別なダイニングへ。さっき採ったばかりの山の幸を、シェフが洗練された料理として魅せてくれる。山の恵みを五感で感じる旅は、特別なひとときを与えてくれる。

体験の流れ

本ツアーでは専用車に乗車し、その季節に出逢う食材を求めて、人里離れた場所へ向かい、地元の人々と交流したり、山の恵みをいただく。収穫した食材を手にとり夕食会場へ向かい、あなただけの特別な場所（大畠酒造）で特別な食事をご提供。山の幸、梅が香る郷で特別な時間と食事を楽しんでいただく。

コンテンツ料金

販売価格（税抜）
※一般公示価格

60,000円／1名
30,000円／2名～4名 25,000円 5名以上

価格に含まれるもの

ガイド代・送迎タクシー代・昼食または夕食代・保険代

関連するSDGs

■目標12 持続可能な生産消費形態を確保する。

- (ターゲット3) 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
- (ターゲット8) 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。



6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ⑤

愛媛県 今治市

人にやさしいタオル文化と今治お遍路に触れるウォーキングツアー

愛媛県今治市は瀬戸内海の多島美や日本三大急潮流の一つとして有名な来島海峡に面しており、広島県の尾道から続くしまなみ海道が四国の入り口に位置する。今治市は、伝統産業である今治タオルのブランド化に取り組み「タオルのまち」として有名だが、造船・海事関連産業が集積する地域でもあり、石油関連事業、電子機器産業、食品産業などを含めた製造品出荷額は四国一を誇る。また温暖な気候で、柑橘などの農産物の生産や来島海峡の潮流にもまれた新鮮な海産物もあり、旬を楽しむおいしいものも豊富である。

今治タオルは四国愛媛県北部の地で、百二十年の歴史をお遍路と共に刻みつづけてきた。国内最大規模のタオル産地として、伝統的な製造技術と最新技術を巧みに融合させながら地元に根ざす池内タオルは「自社の使用電力を100%風力でまかなう日本初の企業」「最大限の安全と最小限の環境負荷」を掲げ、ブレないものづくりを貫き、未来を切り拓いている。

自分のものを人のためにさりげなく差し出す気風と風土と伝統が、今治タオルに温もりや安らぎを織りこんでいる。「お接待」の思い遣りがあるからこそ、人にやさしいタオルをつくる文化が今治に根づいている。そんな今治の文化や歴史に触れることができるウォーキングツアー。

体験の流れ

お遍路ウォーキングでは、瀬戸内海の美しい景色を眺めることができる58番仙遊寺からスタート。約1kmほど急な坂を下り「犬塚池」へ。昔ながらの田園風景を眺めながら、のんびりと57番札所栄福寺へ向かう。境内の見どころはもちろん、多才を発揮する住職や限定グッズなど他の四国霊場とは違った切り口で楽しむことができる。56番札所泰山寺、54番延命寺と足を進めます。Ikeuchi Organic工場では、通常一般公開していないイケウチオーガニック本社のタオル製造過程を見学し、このツアーに参加した人のみが手に入れられる来場者特別ノベルティ、イニシャル入り限定バスタオルをプレゼント。全長約10km程度のウォーキングツアー。

コンテンツ料金

販売価格（税抜） ※一般公示価格

50,000円／1名
25,000円/2名～4名 20,000円5名以上

価格に含まれるもの

ガイド代・送迎タクシー代・昼食代・遍路装束レンタル代・保険代、タオル工場見学代金及びノベルティセット

関連するSDGs

■目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする。
(ターゲット4) 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。

■目標12 持続可能な生産消費形態を確保する。
(ターゲット8) 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。



6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ⑥

徳島県 海陽町

海の恵みを五感で感じるウェルネスな旅 in Kaifu

深い山々と大海原に囲まれた自然豊かな土地“海陽町”。町の中心を流れる海部川はダムのない希少な清流で名水百選にも選ばれており、その河口域には瀬浦と呼ばれる漁村の美しい町並みと暮らしが今も脈々と息づいている。海部川河口は近年、世界的なサーフィンのポイントとしても知られ、春から秋にかけてのシーズンには国内外から多くのサーファーやダイバー、釣り人が訪れる。

一方、海部川を遡った源流域には深い山々が連なり、その奥地には四国一の大滝とも云われる轟の滝と、この地の水の神様を祀る轟神社がある。昭和の時代までは林業が盛んで建築や造船業の原料となる杉・檜の一大産地として栄え、轟の滝や神社は古来よりそうした山の民を中心に、海の民や土地の人々の信仰の対象として大切に守られてきた。一次産業の衰退による人口減少に伴い、神社や祭りを支える氏子が激減し、その保全継承に大きな課題を抱えている現状だが、先祖代々400年以上に渡りここを守ってきた神職一家や、2人の若手総代を中心とした様々な活動が昨今全国から注目を集めている。

海山巡る美しい水に恵まれた海陽町の豊かな自然や、阿波國の深い歴史文化の魅力を五感六感でフルに体感し、自然環境や今在る全ての生命を敬い感謝することの大切さを学び育むウェルネスの旅である。

体験の流れ

本ツアーでは、轟の滝/神社の歴史にも縁の深い阿波藍文化や漁業の現場を巡り学んでいただく。その他、北欧初の最新環境配慮型E.Bike“MATE”を使ったカントリーロードサイクリング、海部の海を一望できる轟九十九滝を巡るウォーターホールトレッキングなどアクティビティも盛り込み、心と体をフルに動かした後は四季折々の土地の海の幸山の幸を味わっていただく。

コンテンツ料金

販売価格（税抜） ※一般公示価格

68,000／1名
30,000円/2名～4名 20,000円5名以上

価格に含まれるもの

ガイド代・送迎タクシー代・昼食代・レンタルサイクル代・保険代

関連するSDGs

■目標12 持続可能な生産消費形態を確保する。

(ターゲット8) 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

■目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

(ターゲット4) 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。



6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ⑦

高知県 土佐清水市

四国最南端の地「足摺岬の水巡り」プレミアムツアー

足摺岬は、四国最南端の岬で、岬の西の臼碁は、黒潮本流が直接ぶつかる全国でも唯一の場所である。彼方にのぞむ水平線がアーチ状に見え、地球が丸いことが肌で実感できる。
先端部には、岬の別名“つばきの岬”の所以であるヤブツバキが自生しており、2月には、約6万本の赤色の花が岬を彩る。遊歩道には「足摺七不思議」の伝説が残っている。

「四国霊場第38番札所・金剛福寺」は37番札所岩本寺からは約80kmもあり、四国八十八ヶ所めぐりのなかで札所と札所の距離がもっとも離れている区間であり、歩けば3日間～4日間程度かかる難所と言われている。

そんな足摺岬を270度にぐると水平線が囲む絶景の展望台や日本一大きな花崗岩の洞門、断崖絶壁にぽっかり空いた伝説の洞窟、マグマがそのまま冷え固まってできた海岸など、陸も海も足摺の海岸は見どころの連続である。この秘境の大自然をウォーキング、遊覧船、サイクリングで贅沢に巡るアドベンチャーなツアーでは、いつもと違う光や風がココロを刺激する充実の自然を体験できる。このフィールドを知り尽くしたネイチャーガイドが、それぞれの四季、瞬間にしか味わえないアクティビティを案内し、都会では決して得られない感動を、ここ足摺で味わっていただく。

体験の流れ

本ツアーでは足摺岬にあるジョン万次郎の銅像前からスタート。

38番金剛福寺（参拝）→足摺岬展望台→ツバキのトンネル・足摺七不思議→白山洞門
→伊佐漁港にて乗船（足摺岬周辺の海岸観光）→松尾漁港着→松尾地区周辺の自然探訪
→ウバメガシのトンネル→サイクリング→鵜の岬→臼碁海岸→臼碁海岸・竜宮神社→足摺岬
全長約13km(徒歩約2.5km サイクリング約10km) 程度を巡るウォーキング・サイクリングツアー。

体験に含まれる料金

販売価格（税抜）	45,000円／1名
※一般公示価格	25,000円/2名～4名 19,000円5名以上
価格に含まれるもの	ガイド代・送迎タクシー代・乗船代・レンタルサイクル代金・昼食代・保険代

関連するSDGs

■目標12 持続可能な生産消費形態を確保する。

(ターゲット8) 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

■目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

(ターゲット4) 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。



6.体験型・滞在型コンテンツの企画・開発

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

新規造成コンテンツ

コンテンツ⑧

香川県 土庄町

SETOUCHI豊島、サイクリング・アートが切り開いた未来と島ぐらし

その美しさから日本初の国立公園に認定された瀬戸内に位置する豊島は、近年アートの島として世界から注目を集め、多くの旅行者が訪れている。かつて海上交通の拠点として発展し、その後いち早く工場を誘致した。

しかし、自然豊かで農業や林業が盛んだった豊島は、1970年代終わりがごろから産業廃棄物が不法に持ち込まれ、ゴミの島と呼ばれた。豊島は島の未来を守りたいとの強い思いから、残された島の自然と景観をいかしアートが共生する唯一無二の場所を創りだした。

当時の歴史を振り返りながら、島が織りなす「アート」な世界を楽しんでいただく。

体験の流れ

本ツアーでは、自転車で豊島内を巡り、豊島の自然と景観眺望を体験し、途中豊島の語り部と行く産業廃棄物不法投棄現場見学、豊島の四季を五感で感じる美術館訪問、壇山頂上から見る瀬戸内海国立公園眺望へ案内するサイクリングツアー。

コンテンツ料金

販売価格（税抜） ※一般公示価格	55,000円／1名 23,000円/2名～4名 20,000円5名以上
価格に含まれるもの	ガイド代・送迎タクシー代・昼食代・遍路装束レンタル代・保険代

関連するSDGs

- 目標12 持続可能な生産消費形態を確保する。
(ターゲット8) 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
- 目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
(ターゲット4) 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。



7.旅行商品流通環境整備

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

OTAへの掲載


新たに造成した旅行商品の流通環境整備としてOTAであるviatorへ商品を掲載し販売を開始した。

【掲載OTA】VIATOR.COM

世界最大級の利用者を持つトリップアドバイザーの子会社であり、掲載するためにはVIATOR社員による審査が必要。

【掲載】2022年2月14日、以下の4商品を掲載し販売開始した。

掲載商品①高松2泊3日プライベートツアー



Search for "Paris" or "Colosseum"



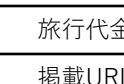
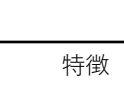
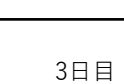

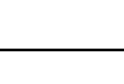

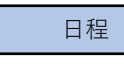

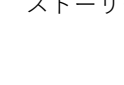
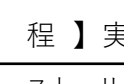






EN JPY Help Bookings Account

Home / Things to do in Japan / Things to do in Kagawa Prefecture / Things to do in Takamatsu / Takamatsu Tours / Tours, Sightseeing & Cruises / How to Get Around / Mountain Bike Tours

Book online or call: +1 (702) 648-5873
Chat now

3-Day Private Tour in Takamatsu

Takamatsu, Japan



from ¥460,000 JPY
Price varies by group size

Lowest Price Guarantee
Select Date and Travelers

Tuesday, Mar 01, 2022

Number of travelers

Check Availability

Non-refundable
You will not receive a refund if you cancel. [Learn more](#)

Takamatsu Tours

Safety measures

3 days (Approx.)

Hotel pickup offered


Offered in: English and 1 more


【旅程】実際には英語表記によるストーリーでの掲載






ストーリー	高松市は四国経済の中心地であり、香川県を支える企業の中核として、文化・芸術・伝統の表現が盛んに行われています。この3日間のツアーでは、こうした前衛的な流れに沿って、思いがけない文化の探求と発見をすることができます。伝統の知恵を守り続ける数少ない名人たちによる伝統芸能に触れ、日本一小さな県ならではの豊かな農作物を味わう。また、瀬戸内海の青い海を渡って、芸術の可能性に挑戦し、芸術が持つ力を実感できる島々を訪ねます。このツアーでは、時間の経過とともに新たな表情を見せる寺院や巡礼の道にも出会います。	
日程	行程	食事
1日目	讃岐漆器体験での箸作り 有機野菜のオーガニックランチ 栗林公園庭園見学 歴史風情が残る高松町並み散策 オーベルジュオオイン宿泊	朝× 昼○ 夕○
2日目	高松市仏生山町から田園風景サイクリング 八栗ケーブルカーでの五剣山塔頂と八栗寺参拝 屋島山頂からの瀬戸内海眺望と屋島寺参拝 オーベルジュオオイン宿泊	朝○ 昼○ 夕○
3日目	高松から船にてアートアイランド直島へ 家プロジェクト、地中美術館、ベネッセハウスミュージアム見学 船にて高松到着、高松駅まで送迎	朝○ 昼○ 夕×
特徴	滞在中専用車・専用ガイドによるプライベートツアー	
旅行代金	1名あたり460,000円	
掲載URL	https://www.viator.com/tours/Takamatsu/Every-Day-Takamatsu/d50594-180256P7	

OTAへの掲載



掲載商品②徳島2泊3日プライベートツアー







 EN
  JPY
  Help
  Bookings
  Account


[Home](#) / [Things to do in Japan](#) / [Things to do in Tokushima Prefecture](#) / [Tokushima Prefecture Tours](#) / [Outdoor Activities](#) / [Nature and Wildlife](#)






 Book online or call: +1 (702) 648-5873
  Chat now

Shikoku 3-Day Cultural Private Tour with Pick Up

Matsushige, Japan

 Share
  Save to Wishlist











SPECIAL OFFER

from ¥348,000 JPY
~~¥435,000 JPY~~ Save ¥87,000 JPY
Price varies by group size

[Lowest Price Guarantee](#)
 Select Date and Travelers





 Tuesday, Mar 01, 2022

 Number of travelers

Check Availability

Non-refundable
 You will not receive a refund if you cancel. [Learn more](#)

[Tokushima Prefecture Tours](#)

 [Safety measures](#)
 3 days (Approx.)
  Pickup offered
  Offered in: English and 1 more

【 旅 程 】 実際には英語表記によるストーリーでの掲載

ストーリー	このツアーでは、日ごとにサステナビリティに触れながら、その土地に古くから伝わる文化や伝統を守り、日々深い満足感を味わうことができます。手つかずの自然が残る山寺、廃棄物ゼロを目指す地域、自然と調和した伝統工芸、自然管理を重視した酒造など、四国には一見しただけではわからないサステナビリティの魅力がたくさんあります。そしてそれは、時間をかけてより良くなっていくものでしかないのです。	
日程	行程	食事
1日目	徳島空港もしくは徳島駅から専用車で旅行開始 四国霊場札所霊山寺の自然に囲まれた遍路道体験 松浦酒造「鳴門鯛」酒造見学とテイスティング、鳴門散策 伝統的な藍染体験 小松島リゾート宿泊	朝× 昼○ 夕○
2日目	勝浦郡でのブナ原生林見学・景観眺望と雑貨屋兼酒蔵見学 上勝町での阿波番茶手摘み体験 上勝町でのゼロウェイストセンター見学・体験 小松島リゾート宿泊	朝○ 昼○ 夕○
3日目	四国霊場札所焼山寺の自然に囲まれた遍路道体験 梅酒蔵・大島酒造見学 美郷でのオーガニック特別ランチ 阿波紙ファクトリーでの和紙紙すき体験 高松空港もしくは高松駅まで専用車で送迎	朝○ 昼○ 夕×
特徴	滞在中専用車・専用ガイドによるプライベートツアー	
旅行代金	1名あたり348,000円	
掲載URL	https://www.viator.com/tours/Tokushima-Prefecture/Preserving-Nature-Cultures-and-Tradition-of-Tokushima-A-Tour-of-Hidden-Shikoku/d50180-180256P5	

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

掲載商品③愛媛2泊3日プライベートツアー

【 旅 程 】 実際には英語表記によるストーリーでの掲載

26

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

OTAへの掲載

掲載商品④高知2泊3日プライベートツアー

[Search for "Paris" or "Colosseum"](#)
EN
JPY
Help
Bookings
Account

[Home](#) /
 [Things to do in Japan](#) /
 [Things to do in Kochi Prefecture](#) /
 [Things to do in Kochi](#) /
 [Kochi Tours](#) /
 [Tours, Sightseeing & Cruises](#) /
 [Tours by Duration](#) /
 [Multi-day Tours](#)

Book online or call: +1 (702) 648-5873
 Chat now

Kochi Private 3 Day Adventure with Accommodation

Kochi, Japan

from ¥416,000 JPY

Price varies by group size

Lowest Price Guarantee

Select Date and Travelers

Wednesday, Mar 02, 2022

Number of travelers

Check Availability

Non-refundable
You will not receive a refund if you cancel. [Learn more](#)

Kochi Tours

Safety measures
 3 days (Approx.)
 Pickup from select hotels
 Mobile ticket

Offered in: English and 1 more

【 旅 程 】 実際には英語表記によるストーリーでの掲載

ストーリー	太平洋に面した海岸線の轟音、険しい山々の高さ、水晶のような川のせせらぎなど、高知県は美しい風景で結ばれた土地です。そして、それは迷いやすい風景でもある。むしろ、そのほうがいい。かつて鉄道線路だった林道は山々に囲まれ、ゆっくりと癒されていく。驚くほど青い水が、旗竿や川石を伝って流れ、高知県の空の青さを受け止め反射する。「仁淀ブルー」とも呼ばれるこの色彩は、高知を流れるさまざまな水流が織り成す、この世のものとは思えないほど清らかな水の証しである。和紙作りなどの伝統工芸に欠かせない水として、また、山間部にある小さな地ビール工場に最適な水として、高い品質を誇っている。また、このような水質の良さは、そのままの姿で見ることができる絶好の観光地でもあります。	
日程	行程	食事
1日目	安居渓谷ハイキングと地元の沢渡茶を使った食事 中津渓谷での透き通った水の見学、クラフトビール見学とテイスティング 四万十源流せいらんの里宿泊	朝× 昼○ 夕○
2日目	四万十川沿い景観眺望 かこみやにて和紙紙漉き体験 隈研吾建築群で知られる梶原町内見学 マルシェゆすはら宿泊	朝○ 昼○ 夕○
3日目	鉄道線路の跡地散策（アートトレイル森の美術館） 四国霊場札所岩本寺参拝（ヨガ等の体験可能な寺院） 高知駅、高知空港、高松空港、高松駅等最寄りの場所へ送迎	朝○ 昼○ 夕×
特徴	滞在中専用車・専用ガイドによるプライベートツアー	
旅行代金	1名あたり416,000円	
掲載URL	https://www.viator.com/tours/Kochi/Kochi-Water-Just-the-way-it-is/d4691-180256P9	

8.受入環境整備

地域セミナー

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

地域セミナーの実施

造成コンテンツに関わる地域事業者や地域住民、ガイドに対して、SDGsの知見を有する専門家を招請し、持続可能な観光の概要や取組みの必要性についてセミナーを実施した。
セミナー実施時には、新型コロナウイルス感染のリスク回避のため、1ヶ所の会場とオンラインによるハイブリッド開催として実施をした。

【実施時期】 2021年7月21日（水）午前10：00～12：00

【講師】 観光SDGs支援センター 副センター長
荒井一洋氏

【会場】 かがわ国際会議場へ来場し参加（31名）
zoomによるオンラインにて参加（80名）

【募集方法】 講演会案内チラシを作成し、四国ツーリズム創造機構より発信

【募集広告】 下記の通り

無料
セミナー

【無料講演会のご案内】
SDGs×アドベンチャートラベル
～持続可能な地域観光について～



持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

膨大な人の移動をもたらしている観光は、経済・社会・文化・環境面において持続可能な開発目標の達成に大きく貢献する可能性を秘めており、観光業におけるSDGs、アドベンチャートラベルの観点についてお話いただきます。

日時	2021年7月21日（水） 申込締切7月14日 午前10：00～12：00（開場9：30）
講師	観光SDGs支援センター 副センター長 荒井一洋氏
会場	かがわ国際会議場 高松シンボルタワー タワー棟6階 香川県高松市サンポート2-1
申込	右記QRコードor 下記URLへアクセスして お申込み下さい
対象	観光事業者（アクティビティ、交通、宿泊、 飲食、土産・物産、ガイド・案内人等）
定員	会場参加：50名 オンライン参加（zoom）：100名 ※いずれも先着順

会場参加orオンライン参加のどちらかをお選びいただけます



<https://forms.gle/ep1shsNtntFPTXVn7>



講師 荒井一洋氏

1977年生まれ。北海道出身。ニュージーランド・Lincoln Universityでは国立公園管理と自然保全を専攻し、北海道大学院・観光創造専攻では「エコツアーのコスト構造とシャドールワークに関する研究」を行った。NPO法人日本エコツーリズムセンター理事、アジアエコツーリズムネットワークの理事として、GSTCの公認トレーナーとなり、持続可能な観光の日本への普及に努めている。また、北海道アドベンチャートラベル協議会会長の活動をとおり、アウトドア観光を手法にした持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

実施主体（一社）四国ツーリズム創造機構 運営

お申込み
お問い合わせ

株式会社穴吹トラベル

TEL:087-823-1666
<https://anabuki-travel.com/ja/>

8. 受入環境整備

地域セミナー

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

地域セミナー講演内容

【はじめに】

- ・観光業自体がサステナブルな活動であるが、逆に観光が環境破壊等の問題を作っているのではないか。
- ・観光はSDGsという言葉が出る前から経済問題や環境問題の解決策であり、環境保全・持続可能な経済活動のツールであったはず。

(取組例①) アフリカゾウの象牙を売るために象を狩ることで頭数が減る。
→しかしゾウを保全してしまうと象牙屋さんの仕事がなくなる。
→1人1万円の料金設定をして、毎年いろんな人に象を見てもらう。
→持続可能な観光活動となる。

(取組例②) 木を切らない林業

→フォレストアドベンチャー（森遊び）では入場料を取るが、木を切らずに稼げる。

(取組例③) 洲本市にある春陽荘

→古い建造物の宿だが、お茶の会場・観光施設として維持できる。
ところが、観光客が増えると登山道の浸食など環境破壊の問題が発生している。
観光を進める立場として、考え方を今一度見直す必要がある。



SDGsと観光



【講話内容】

1. SDGsと持続可能な観光の関係性

- ・世界を変えるための17の目標のこと。
- ・持続可能な観光とは既に定義されており、「旅行者・産業・環境・受け入れる地域のニーズに適合しつつ、現在と将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮した観光」である。
- ・様々な定義が世界中にある中で、言葉を切ったり紡いだりした結果このような定義となった。
- ・SDGsと似ているものとして「持続可能な観光の国際基準（GSTC）」があり、観光地用と観光事業者用に分かれている。観光事業者用にはマネジメント・社会経済・文化・環境の4つの分野を重視する必要があるが、もっと細かくすると38の基準がある。
- ・GSTCの基準を満たすには、①文書化しているか、②方針として実行されているか、③ベストプラクティスとして実行されているか、この3つのステップが必要。
- ・GSTCの観光地の定義は各地で決めることができる。（自治体単位で作ることができる）
- ・地域マネジメントの責任の項目では、周辺自治体での連携も重要となる。
例）国立公園・ジオパーク等があればそこは自治体が既に管理ができています。
- ・計画を作る際は、様々な分野と協力する必要がある。（ステイクホルダーの設定）
- ・社会経済のサステナビリティのチェック項目では、観光業による地域社会への来訪者数などを記録する、DMOは地域の団体への連携をするなどの項目が存在するが、38項目もあるため最低ラインとして紹介した。

2. GSTCについて

- ・基準やガイドラインを所有している団体/企業に、その基準が準拠しているかの承認を行い、認証機関に対してそこが持つ認証制度を認定するのが主な活動内容。
- ・基準を設定する団体として①グリーンデスティネーション（観光地域）、②トラベライフ（観光事業者）の2団体ある。
- ・国内では、グリーンデスティネーションの世界トップ100に釜石市など6カ所が選ばれた。認証後は項目の多さによって賞を獲得することができる。
- ・トラベライフは一定の基準を満たせば、マークを掲示することができ、基準の6割を満たすとパートナー認定されるため、ここを目指すべき。旅行者はこのマークを目安に企業選別の判断ができる。

地域セミナー講演内容

3.サスティナブルツーリズムに取り組むにあたって

①ニーズはあるのか

- ・世の中の推しはサステナビリティであり、時代によって価値観が変化する。（モノからコトへの重視へ変化している）
- ・高品質な体験価値を世界中が求めており、持続可能な観光をすることで観光地も自分も成長できる。コストがかかっても正しく良い行いをした方が株主に評価される時代であるため、利益の求めるのではなく、頑張る姿を世の中は推している。

②コストメリット

- ・スタッフが給料重視から、生きがいややりたい仕事重視などへの価値観変化しているため、生き活きと働いてくれるため、少々給料が低くても従業員満足に繋がる。

③資源

- ・人・モノ・カネ・情報の4つがそろえば成功できる。※各分野の専門家を探す必要がある。
- ・チャンスはすぐ近くにあるため、そのチャンスを広める活動を常日頃行っている。

(数字面からの読み解ける内容)

①81%

- ・毎年1回以上旅行する人の81%は「サスティナブルな宿泊施設に最低1回は泊まる意向である」（ブッキングドットコム・サスティナブルトラベルレポート参照）

②83%

- ・毎年1回以上旅行する人の83%は、文化遺産の保全が重要と感じている。
そういったツアーはかなり反応があるかも知れない。

③69%

- ・毎年1回以上旅行する人の69%の人がサスティナブルな旅行オプションを求めている。
- ・「持続可能だからお客が来る」のではなく「持続可能ではないところにお客は行けない」。

④70%

- ・毎年1回以上旅行する人の70%の人が「宿泊にエコが配慮されていると知って予約をしたい」と回答しているが、日本人だけのレポートでは同条件では36%と少なく、あまりその情報には興味を持っていない。

4.持続可能な観光の事例（アドベンチャートラベル）

- ・「アドベンチャートラベル」とは、アクティビティ・文化・自然を含めた旅行で、アクティビティは3つの種類（ソフトタイプ・ハードタイプ・専門的）で構成される。
- ・旅行者は自身の学び、変化、視野を広げるためにATに行き、自分の成長に繋がる欲求を満たす。
- ・比較的一般的な観光客と比べると平均単価は高い。
- ・クルーズの旅行よりも少ない人数で大きな影響を与える。
→大雪山では1日当たり5万円の価格で販売。新しい経験・学びなどを取り入れた内容。
- ・アジアのお客様は旅行前と後でギャップが良く発生しやすい。
- ・ATコンテンツは磨き上げにあたっての基準もある。（米国作成）

(自身のこれまでの取組み事例から学んだこと)

- ・英語ガイド育成よりも経営者育成が大切。英語の研修だけでATは実施できない。
- ・全体の底上げより、ATにコミットした団体をサポート・プロモーションし、専門的に取組む企業に投資した方が早い。それが理想的な構造。
- ・ATはこれまでの活動の実績を活用しやすい。
- ・お客さんが「これをアドベンチャーだ」と感じられる内容に変える取組みが手っ取り早い。

地域セミナー講演内容

5.ガイドの役割

- ・ 重要なのはスルーガイド＝添乗員であり、誰もが取り組むことができる。
- ・ ガイドには以下の3つの役割がある。
 - ①インストラクター（指導者）：オリエンテーションなど指示を明確に出せる指導者。
 - ②インタープリター（解説者）：メッセージを解説・仲介し的確に伝える解説者。
 - ③ファシリテーター（促進者）：参加者への気づきを促すことができる促進者。
- ・ 地域が育つ・ガイドが育つコンテンツを作るために、自分が目指す理想のツアーを作りませんか。（実現可能60%・夢40%）目標を持ち、透明性を持って取組むことが大切。できたところだけまずはツアー化し、できなかった部分はツアーから削ればよい。

6.質疑応答

- ・ SDGsの⑧働きがいも経済成長も、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさも守ろうについて、日本または四国が課題としなければならない項目はどれでしょうか？
 - 自分の働き甲斐のある仕事となることが理想。→明日から自分でもできる
 - 宿泊施設などについては働き方を変えることは難しいが、従業員が働き甲斐を感じることで、生き生きした表情や姿でサービス提供ができるようになる。フロントラインで働く人たちが、一番地域の観光価値を作ることができる。また、時計などもハード面では価値を年々上げることは難しいが、人のサービスの料金を上げることはできる。
 - いずれも項目の基準や枠としてこだわりすぎるのではなく自然体で取り組んでいけば結果的にSDGsの取組みに繋がることが多い。
- ・ 瀬戸内海・香川県がインバウンドから注目を集めているが、場所の魅力を軸に観光活性化をするために「本物」をどのように提供したらよいか？
 - 「本物」とは、本格的であり素人の域を超えていること、実物・真実という意味がある。
 - その意味を考えた上で、体験は「本物」かどうか。自己変革を起こせる体験であるのか、地元のオーガニックランチは「本物」か？地元の人たちは求めて食べているのか？提供したいものがあれば、日常使いができるように取組むべきである。
- ・ サスティナブルツアーの意識として、日本はもったいない精神があるにも関わらず、世界とのギャップが大きすぎるのはなぜでしょうか？
 - 旅行に行くときにエコまで関心を持っていないと思われる。これから日本全体で考えていくべきである。
- ・ ボランティアガイドは、SDGs的にはどうなのか。
 - お金を軸としては考えていない人ならSDGs的にはOKである。
- ・ 過疎地において観光をどう進めるべきか。
 - 誰がやりたいのかが重要で、やりたい人がやるべきである。
 - 人・モノ・カネ・情報の4つの資源がないなら、機会を待つか、他からアプローチをすればよい。

8. 受入環境整備 __地域セミナー

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

地域セミナーの様子



会場入り口



案内看板



案内看板



会場設営の様子



受付時検温の様子



参加者入室後開演前の様子



主催者（左）と
講演者（右）



司会進行の様子



講演時の様子



講演時の様子



講演時の様子



講演時の様子

9.受入環境整備

地域セミナーアンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

地域セミナーアンケート結果

地域セミナーを実施後、参加者（会場参加31名、オンライン参加80名の合計111名）に対してアンケートを実施した。

アンケート回収率は86.4%（参加者111名 内、アンケート回答者96名）であった。

アンケート回答結果は以下の通り。

- ①過去に、国・自治体等主催で、SDGs観光分野に関わる講演会や、研修会へ参加したことがありますか。

ある	54	56.3%
ない	42	43.8%

- ②今回講演会に参加するきっかけについて

内容に興味があったため	60	62.5%
今後SDGsに取り組むため	24	25.0%
取引先等の紹介のため	12	12.5%
講師が有名なため	0	—

- ③講演会は御社（あなた）にとって、参考になる内容でしたか？

大変参考になった	24	25.0%
参考になった	56	58.3%
少し参考になった	12	12.5%
あまり参考にならなかった	4	4.2%

- ④講演内容について

よく理解できた	34	35.4%
どちらかというと理解できた	54	56.3%
あまり理解できなかった	6	6.3%
わからない	2	2.1%

- ⑤講演の時間について

もう少し長い時間の方が良い	8	8.3%
ちょうど良い	80	83.3%
もう少し短い時間の方が良い	8	8.3%

- ⑥今回の講演会以外で、SDGs・アドベンチャートラベルに関するセミナーや講演会に参加されたことはありますか

ある	54	56.3%
ない	42	43.8%

9.受入環境整備

地域セミナーアンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

地域セミナーアンケート結果

⑦⑧であるとお答えいただいた方、具体的なセミナー名や講演会の名称を教えてください

1	G S T C トレーニング
2	四国東部エリアにおける遍路文化とストーリーで繋がるアドベンチャーツーリズムでのコーディネーター・ガイド育成事業
3	地域の観光コンテンツを活用したアドベンチャーツーリズム
4	百十四研究所企画の瀬戸内通訳案内士対象の研修
5	A T T A 及び G S T C のオンラインワークショップ
6	北海道のアドベンチャーツーリズムセミナー
7	瀬戸内国際芸術祭ガイド研修
8	上勝町・いろどりオンラインセミナー
9	大洲市開催の G S T C セミナー
10	同友会主催の研修
11	丸亀市商工会主催講演会
12	取引生命保険会社（日本生命、大樹生命、大同生命）主催のSDGs講演会
13	取引銀行主催のSDGs講演会
14	取引先協力会主催のSDGs働き方講演会

⑧SDGsについてどの程度ご存じでしたか

持続可能な開発を目指す上で経済、社会、環境の統合が重要であることを知っている	70	72.9%
2030年までに達成すべきゴールであるとは知っている	16	16.7%
SDGsという言葉は聞いたことがある、もしくはロゴは見たことがある	8	8.3%
存在を知らない	2	2.1%

⑨SDGsについてどの程度関心がありますか

非常に関心がある	30	31.3%
関心がある	62	64.6%
あまり関心がない	4	4.2%
全く関心がない	0	—

⑩SDGsが掲げる17の目標のうち、重要だと感じるものはどれですか（複数回答可）

1：貧困をなくそう	44	45.8%
2：飢餓をゼロ	35	35.4%
3：すべての人に健康と福祉を	46	47.9%
4：質の高い教育をみんなに	36	37.5%
5：ジェンダー平等を実現しよう	32	33.3%
6：安全な水とトイレを世界中に	32	33.3%
7：エネルギーをみんなに　そしてクリーンに	30	31.3%
8：働きがいも経済成長も	58	60.4%
9：産業と技術革新の基盤をつくろう	18	18.8%
10：人や国の不平等をなくそう	28	29.2%
11：住み続けられるまちづくりを	46	47.9%
12：つくる責任　つかう責任	46	47.9%
13：気候変動に具体的な対策を	42	43.8%
14：海の豊かさを守ろう	50	52.1%
15：陸の豊かさを守ろう	44	45.8%
16：平和と公正をすべての人に	28	29.2%
17：パートナーシップで目標を達成しよう	22	22.9%

9.受入環境整備

地域セミナーアンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

地域セミナーアンケート結果

⑪講演を通じてSDGsが掲げる17の目標のうち、最も推し進めるべきだと感じるものはどれですか（複数回答可）

1：貧困をなくそう	6	6.3%
2：飢餓をゼロ	2	2.1%
3：すべての人に健康と福祉を	6	6.3%
4：質の高い教育をみんなに	8	8.3%
5：ジェンダー平等を実現しよう	10	10.4%
6：安全な水とトイレを世界中に	6	6.3%
7：エネルギーをみんなに　そしてクリーンに	24	25.0%
8：働きがいも経済成長も	54	56.3%
9：産業と技術革新の基盤をつくろう	18	18.8%
10：人や国の不平等をなくそう	6	6.3%
11：住み続けられるまちづくりを	66	68.8%
12：つくる責任　つかう責任	40	41.7%
13：気候変動に具体的な対策を	16	16.7%
14：海の豊かさを守ろう	66	68.8%
15：陸の豊かさを守ろう	52	54.2%
16：平和と公正をすべての人に	4	4.2%
17：パートナーシップで目標を達成しよう	14	14.6%

⑫その他（自由記載）

- ・貴重なお話を聴く事ができて、色々と学ぶことができました。
- ・荒井先生の観光に対する熱量に感銘を受け、自分自身でも日々考え、できることから行動していくことが大切だと感じました。
- ・SDGs研修は、とても参考になりました。
- ・これからは、観光でもSDG'sを取り入れる必要がある。
- ・研修の中で、具体的に私達ができる事なども説明してくれたので、実際に動いていこうと思います。
- ・講師の方の説明は、大変分かりやすかったです。
- ・頂いた資料もとても参考になります。
- ・このような講演は初めてだったので、ためになりました。
- ・GSTCについて初めて理解でき、大変参考になりました。
- ・アドベンチャートラベルを実践している荒井一洋氏の体験談や具体的な事例は大変興味深かった。
- ・どのように観光にSDGsを導入するかも大いに参考になった。
- ・高松市は、Booking.comの「2020年に訪れるべき旅先10選」（TopTrendingDestinations）に選ばれたが、地球上でホットな場所と言った感じだろう。
- ・四国は豊かな自然と歴史と穏やかな気候、そして、四季の美しさと、コンパクトな街の機能・便利さが調和しているので、まさに理想的なデスティネーションと言えるのではないだろうか。
- ・SDGsについては難しい課題なので漠然としか捉えておりませんでした、お話を聞いてそのハードルが少し下がったような気がします。
- ・本日頂いたお知恵を活かされるよう社内も意識付けから始めて参りたいと思っております。
- ・日本バージョンのGSTCの取組み方というのも世界のものと比較できたのが勉強になりました。
- ・今後もこのような勉強の機会やSDGsやGSTC機関を理解する機会が増えていくことを願っています。

アンケート結果からの考察

- ・ 今回のセミナー参加者総数は111名でありその内訳として、会場での参加者が31名、オンラインでの参加者が80名となった。香川県高松市で開催をしたが、参加者が自宅や会社から会場までの交通費を自己負担する点や会場までの移動時間がかかる点、オンライン環境があれば自宅や会社、出張先からも視聴ができる便利さ等を考慮するとオンライン希望者が多くなる点が理解できる。会場参加した方の一部には、講師と直接交流を求める方もいた。今後も講演会の形式として、リアルとオンラインのハイブリッド開催は有効であると思われる。
- ・ SDGsの取組みに対して、参加者の半数以上が興味・関心を抱いていることが分かる。
- ・ 参加きっかけとして内容に興味を持つ方や今後SDGsに取り組むために参加した方が87.5%（84名）であったが、これまでSDGs分野に関する他の講演会や研修会に参加したことがあると答えた参加者は56.3%（54名）であり、今回の地域セミナーを実施したことで新たに30名の観光事業者に対してSDGs・アドベンチャートラベルに関わる知識向上に繋げることができた。
- ・ SDGsの目標の中で、参加者の内40%が重要であると答えた項目には8項目が選ばれたが、観光事業者として最も推し進めるべきと感じた項目は5項目にとどまった。
最も推し進めるべきと感じた5項目は、[11：住み続けられる町づくりを]、[14：海の豊かさを守ろう]、[8：働きがいも経済成長も]、[15：陸の豊かさを守ろう]、[12：つくる責任つかう責任]となっており、観光事業者が具体的にイメージしやすい項目が選択されている。
- ・ セミナー時間は2時間であったが、参加者からはちょうど良いという回答が83.3%あったため、セミナー時間に関してはこの程度がちょうど良いと思われる。
- ・ 講演の説明の際に具体例を取り入れられたこともあり、参加者の91.7%が理解できたと答えている。自由回答記載にもがあるが、観光事業者が具体的に取組める内容、どのように観光にSDGsを取り入れるかなど、参加者が参考となる具体的事例が多かったため、セミナー参加者が取組み始めるための良いきっかけになったと思われる。
- ・ SDGsに関する講演会や研修としては、今事業のようにDMO主催の他、取引銀行や取引生命保険会社主催、同友会や取引先協力会などの組織主催といった様々な場面で講演会や研修が実施されている。1事業者が自らの会社に講演者を招き、自社単独での実施という形式はあまりなく、様々な会員を有する組織での開催が多い。
- ・ 講演会やセミナーの機会があれば参加を望む希望者は多いと思われる。

10.受入環境整備

__ガイド育成セミナー

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド育成セミナーの実施

欧米豪富裕層を対応できるガイド育成に向け、欧米豪旅行者が求める価値観やガイド像をテーマとして、セミナーを実施した。

セミナー講演者には、四国外に拠点を持ち、欧米豪富裕層を顧客に持つ旅行会社の専門家及び欧米豪富裕層旅行者を受け入れ対応をしている旅館女将の2名を招請し、実体験を通じて欧米豪旅行者が求める価値観やガイド像についての講演会を実施した。

【実施時期】 2021年9月26日（日）午後2：00～4：00

【講師】 ラグジュアリーDMC OKUNI代表
Lauren Scharf氏（石川県金沢市在住）

旅館くらしき 女将

中村律子氏（岡山県倉敷市在住）

【会場】 サンポートホール高松 61会議室（会場参加による開催のみ）

【参加者数】 7名

※受付締切時は15名の申込みであったが、当日体調不良等により8名が欠席

【募集方法】 講演会案内チラシを作成し、四国ツーリズム創造機構より発信

【募集広告】 下記の通り

無料
セミナー

ガイド育成セミナーのご案内

テーマ：欧米豪富裕層が求めるガイド像

日本政策投資銀行による欧米豪など12か国を対象とした「コロナ収束後に訪れたい国と地域」アンケートを調査した結果、日本は1位に選ばれました。コロナ収束後には日本へのインバウンド客が増加する予測が見込まれています。また、欧米豪富裕層がガイドに求める価値観として、単に各言語による観光案内を求めているのではなく、地域のストーリーやバックグラウンド等を理解し臨機応変な対応を求めています。
今セミナーでは、欧米豪富裕層の対応経験豊富なDMCや旅館女将に登壇いただき、欧米豪富裕層が求めるガイド像についての講義を実施致します。



Lauren Scharf氏（金沢市在住）
ラグジュアリーDMC：OKUNI代表
ハイエンドの海外旅行者に日本の本物の芸術と文化を紹介。日本各地での経験を国際メディア、国際旅行者、旅行代理店に開発および宣伝を実施。
欧米豪富裕層の価値観理解度が高い。



中村 律子氏（岡山県在住）
旅館くらしき 女将
欧米豪をはじめ、世界の富裕層を受け入れる旅館であり、自らLTMカンヌ商談会への出展などを通じて、富裕層旅行社とのつながりを持つ。
これまで多くの富裕層旅行者やガイドと接してきており、欧米豪富裕層旅行者が求める真のガイド像や対応の注意点等についてご講演いただきます。

日時	2021年9月26日（日） 午後14：00～16：00（開場13：30）
会場	サンポートホール高松 61会議室 香川県高松市サンポート2-1 高松シンボルタワーホール棟6階
講師	OKUNI：代表 Lauren Scharf氏 旅館くらしき：女将 中村律子氏
申込	右記QRコードor下記URLへアクセスして必要項目を入力しお申し込み下さい。 https://forms.gle/CTVUBCfM1LeF1m5S8 
対象	ガイド、案内人、ホテルスタッフ等
会場定員	30名（先着順） ※会場での参加のみとなります

実施主体 四国ツーリズム創造機構

運営  あなぶきトラベル

お申込み
お問い合わせ

株式会社穴吹トラベル

TEL:087-823-1666
<https://anabuki-travel.com/ja/>

ガイド育成セミナー講演内容

【旅館くらしき女将 中村律子氏 講演内容】

- ・旅館くらしきについて紹介。岡山県倉敷市美観地区の中心に位置。木造建築物を旅館に改装。創業は昭和32年。200～300年以上の歴史があるスモールラグジュアリーの旅館。（全8部屋）

1.欧米豪富裕層をお迎えするにあたって

①なぜ富裕層旅行者の誘致が重要なのか

- ・純金融資産保有額ピラミッドの上層部が関心を持ったものが、中層・下層へと浸透していく。例えば…パリコリ等でトレンドが決まる→超富裕層が好む→中間所得者向け層が好む流れ。
- ・いろいろな人の憧れが商品化に繋がる→地域貢献に結び付く。
- ・富裕層誘致は時間はかかるが効果的な影響を与えることができる。
- ・ターゲットは「クラシックラグジュアリー（古典的）」から「モダンラグジュアリー」へ変化し、独自性・文化・本物を求めている人が増えている。
- ・「豪華」よりも「特別」へと価値観が変化している。煌びやかなゴージャスではなく、心温まる一瞬が大切である。
- ・セレクトイブラグジュアリーのお客様に選ばれる必要がある。→旅館くらしきが目指す。
- ・エデュケーショントラベラーズのお客様（知的好奇心が高く、異文化交流に重きを置く）層に対してのセールスが必要。
- ・欧米豪のモダンラグジュアリー、セレクトイブラグジュアリーのお客様は通訳ガイドが求められており、ガイドはそのターゲット層の価値観を知る必要がある。

②ガイドとしての心構え

- ・事前準備は忍耐と創造力が大切。依頼事項以外にも事前確認できるところは全て確認が必要。
- ・京都から倉敷へ訪れ、一度チェックインしてから備前に散策をされる行程であった場合、行程通りにこなすのではなく、時間短縮のためチェックインと観光を変更する等の提案が必要。
- ・ご滞在時には笑顔と観察力に全力を尽くす。スタッフの表情や行動、言動から、お客様に「歓迎されていない」と感じさせてしまうと、滞在中ずっとその印象は変わらないため、笑顔やすれ違う時のアイコンタクト、口に出してあいさつを徹底するとともに、旅館という箱の中にいるエンターテイナーとして意識して接している。
- ・食事では残したものの、食べにくそうなもの、食事の量などをとにかく観察し館内スタッフにフィードバックをする。送客をしたエージェントにも早く情報を伝えることで、その後の行程に反映してもらう要請をしている。お客様の状況をエージェントと共有することで、エージェントから旅館への信頼とともにお客様からエージェントの信頼も増し、関係者皆が良い関係となる。
- ・生魚・肉NG・グルテンフリーはチェックイン時に分ければ臨機応変に対応できるため、遅くてもチェックインまでに連絡をいただきたい。ガイドからの報告が遅ければ遅いほど、旅館としては負担がかかるため早めに連絡いただきたい。食事に関してはできるだけ対応します。
- ・対応できるもの、できないものが存在するため、今日はできないが明日はできる等、できない場合は別のものの提案をする。（理由を明確に伝えないと納得はいただけない）

③ガイドさんへのお願い

- ・大切なのは誠実なお人柄。礼儀正しく、にこやかな人は意外と少ない。
- ・徹底した事前準備が必要。下見をし、情報を常にアップデートするべきである。予習をしないガイドさんには大切なお客様の対応をお願いできない。
- ・行程と時間の管理は重要ではあるが、臨機応変に対応できないと。ただわがままを聞くのではなく、お客様にとって最善な対応ができるか良い判断が必要。
- ・細かな観察と報告が必要。会話内容だけでなく、ご様子も細かく共有。その日のうちにフィードバックができるコミュニケーション能力が必要。
- ・ガイドは秘書や解説者ではない。楽しい時間をゲストとともに過ごすエンターテイナー感覚が必要。ガイドも楽しく過ごして、良い雰囲気を作れることが大切である。

④ガイドさんにぜひ挑戦してもらいたいこと

- ・[意識的な情報収集のアップデート]ローカルガイドの強みは現地の今を知っているところ。
- ・[人脈づくり]官民間問わず積極的に関係を構築することで良縁を生む。緊急時での対応につながる。
- ・[専門性を持つ]この専門の方ならと安心してお任せすることができる知識を身に付ける。
- ・[経験を重ねる]感覚が身に付く。基本は長期間の仕事となるがやってみて修正を繰り返す。
- ・[ガイド記録をつける]年数ではなく、どのような経験値や専門知識が得られたか振り返る。

ガイド育成セミナー講演内容

【Lauren Scharf氏 講演内容】

※Lauren Scharf氏は全て英語で講演を実施。以下の講演内容は和訳にて記載。

富裕層は旅行に何を期待しているのか？

①お客様へガイドが与える影響力

- ・お客様の楽しみは、ガイドによる影響が大きく、旅の楽しみを左右します。
- ・ガイドとして重要なのは、自分の役割を自覚すること。
- ・長時間お客様と接することになるので、ガイドの行動や観察力によってユニークで有意義な体験ができるか、あるいは不満に思われるかを左右することになる。

②お客様との相性について

- ・友人関係でもそうだが、ガイドとお客様の相性が合わないということはある。その場合、ガイドの能力に問題はなくても、お客様が笑顔で四国を後にするためには、他のガイドの方が適している場合があることを認識しなければならない。単に "相性が悪い"ということもある。

③ラグジュアリーの考え方について

- ・「ラグジュアリー」という考え方について、中村女将も「ラグジュアリー」という言葉を用いているが自分自身のプレゼンテーションとすり合わせると多種多様な形が存在する。
- ・多種多様な考え方の1つに「クライアントは高価で高級な、大統領のような待遇を望む」ことがある。またもう1つに「時間重視のラグジュアリー（時間そのものが贅沢）」という考え方も存在する。ラグジュアリー層のお客様は、信じられないほど忙しい人々であり、この人たちにとって「贅沢」とは、外的要因に左右されずに自分の好きなことをする時間があることだと認識すべきである。
- ・この2つの考え方からも「ラグジュアリー」の定義は、まさに日常から離れること。このような人たちにとって、ラグジュアリーな旅は、日々の淡々とした日常から逃れるためのチャンスであり、この時間へのこだわりこそ、私たちが強く意識すべきである。
- ・旅行者の時間を無駄にせず、楽しく過ごしてもらうことが大切である。日本人のガイドにありがちな、決まった旅程にお客様を拘束することは良くない。
- ・一般的に、お客様が旅程変更を望むことは多く、むしろ全く問題がない。ただし、その日のメインとなるようなイベント（例えば特定の職人を訪ねる、伝統的なスタイルの家で特別な食事をする）などは例外とする。
- ・お客様の時間を無駄にしないようにするために重要なことは、お客様を観察すること。何を好み、何を望まないかを知ることが重要である。このような考え方を理解し行動できれば、プラスアルファでお客様を驚かせたり、感動させたりすることができる。

上記の具体的な事例について

- 1.ある酒蔵で、ガイドが気を利かせてお客様の好きなカクテルのレシピを聞き出した。するとお客様がとても喜んでくれた。またガイドは、お客様がホテルに到着するまでに、レシピと酒瓶を客室に届けた。
 - 2.ある夫婦の奥様がどのタオルを買おうかと迷っている。しかしご主人は明らかに退屈していた。夫婦が帰った後、ガイドは奥様が買おうと思っていたタオルをいくつか選んで、夫婦のホテルの部屋まで届けた。
- ・この2つの例は、お客様をよく観察することにより、ガイドが思いもよらない方法でお客様を驚かせ、四国での時間が他では味わえない特別なものになることを示している。

ガイド育成セミナー講演内容

⑤「オーセンティシティ・イマージョン」という考え方について

- ・ツアーに個性的でよりパーソナライズされた体験を盛り込むというもの。この目的は、お客様に新しい体験をしていただくことであり意義のある本物の体験をしていただくことである。
- ・ガイドは自分のことを話すことが好きであるべき。趣味や好きなこと、興味のあることを話すことで、お客様にとって特別な体験となる。また、日本人の日常生活に対する好奇心を満足させることができる。このような、一見どうでもいいような小さなことが、お客様にとって特別な旅になる。

上記の具体的な事例について

- 1.あるツアーで、ガイドが叔母を訪ねる用事があると言い、お客様と一緒にどうかと尋ねた。ガイドは、元々叔母と約束していたのですが、自然な流れでその場の思いつきのように提案をしました。お客様にはお茶をお出しし、おしゃべりを楽しんでいただき、日本の田舎を満喫していただいた。
- ・この例では「このガイドの機転が利いた対応により高度でパーソナライズな体験ができたこと」を表わしており、このような深い個人的なつながりは、それ自体が一種の贅沢である。

⑥「エクスクルージブ（共有）」という考え方について

- ・本当に意味のある体験を提供するために、可能な限り深く考えるべき。例えば、祖谷溪のような場所でガイドは「そこでしかできないことは何か」を考えるべきである。

⑦「教育」について

- ・ガイドというのは、お客様を案内するのではなく教育する仕事である。特に、クライアントが直面する問題に対処する際に重要度が高く、クライアントが誰であろうと、曲げてはいけない、破ってはいけないルールがあることを心に留めておくことが必要である。何を変えられるか、何を変えることができないのか、クライアントに教育することが重要である。

上記の具体的な事例について

- 1.京都旅行のガイド最中に、突然お客様から芸者遊びがしたいから今晚芸者を手配してほしいとお申し出があった。しかしガイドは、そのお客様にそれは不可能であることをはっきりと注意深く説明する必要がある。
 - ・上記の例は、明らかに文化的な誤解があるケースである。もちろん、芸者を予約することは可能だが、文化的に適切な方法で行わなければならない。ガイドの仕事は、このような潜在的な誤解を回避し、現実の状況を顧客に教育すること。ガイドもユーモアを交え、状況を好転させるような姿勢で臨む。問題に対するこのような軽快なアプローチは、理想的な解決策といえる。しかし、最終的にはお客様の性格にもよるので、やはりガイドがツアー中に熱心にお客様を観察することが必要である。お客様の行動を観察することでニーズや問題点に対応することができる。
- 2.あるイギリス人の夫婦の事例。夫は気難しい人で、夫婦ともにあまり旅行を楽しんでいるようには見えない。ある超高級ホテルで、高価な枕だが満足いく柔らかさではないと女性が不満を漏らした。ガイドが別の枕を手配したところ、女性はすっかり元気になり、その後の数日間はずっと幸せそうで、妻が幸せになったことで夫も元気になった。
 - ・本当の問題は枕ではなく、もう少し深いところにある。夫の不機嫌な態度が目立ち、ガイドやツアー主催者の関心は夫の不満で占められていた。その結果、妻はある意味孤立してしまった。枕の状態などという些細なことで文句を言うことで、彼女は自分への注目を確保することができた。その女性を尊重し親切に接することで、どんなに些細なことでも事態は解決し、夫婦はようやく残りの旅行を楽しむことができた。ガイドは、お客様の身体的な状態を把握するだけでなく、お客様の精神的、感情的な状態を推測し判断する能力が必要である。

⑧最後に

- ・ラグジュアリークライアントを相手にする場合、ガイドの重要性を軽視してはいけない。
- ・お客様の時間を無駄にせず、ツアーの内容を適切に教育し、情報を提供することがあなたの義務である。お客様の話をよく聞き、観察し、フレキシブルに対応することで、簡単なことでもお客様の喜びや経験を素晴らしいものにすることができる。あなたの行動の最終目標は、お客様にとって豊かで、深く個人的で、意味のある経験と環境を作る存在であるべきである。

10.受入環境整備 __地域セミナー

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

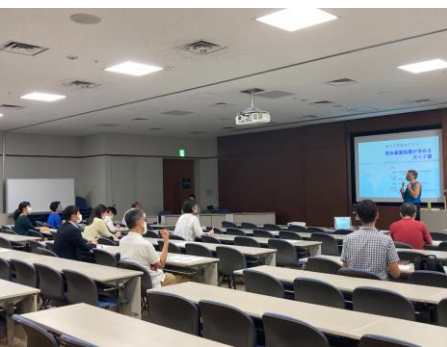
地域セミナーの様子



旅館倉敷中村律子氏（左）
Lauren Scharf氏（右）



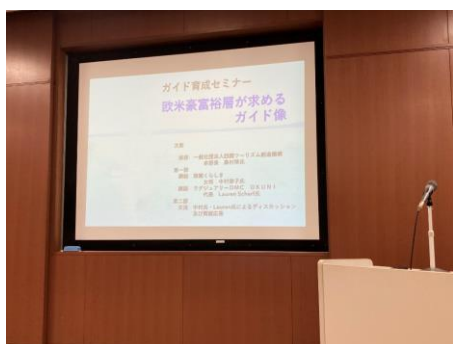
中村律子氏
講演の様子



Lauren Scharf氏
講演の様子



質疑応答の様子



会場設営の様子



司会進行の様子

11.受入環境整備

__ガイド育成セミナーアンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド育成セミナーアンケート結果

ガイド育成セミナーを実施後、参加者（会場参加7名）に対してアンケートを実施した。
アンケート回収率は100%であった。
アンケート回答結果は以下の通り。

所属先を教えてください

フリーランス	3	42.9%
穴吹トラベル	2	28.6%
四国遍路通訳ガイド協会	1	14.2%
ジャパNSTAFF	1	14.2%

参加者の40%が、所属のないフリーランスと回答した。

- ①過去に、欧米豪富裕層が求めるガイド像に関連したセミナーや研修会に参加したことがありますか

ある	4	57.1%
ない	3	42.9%

参加者の57%が、関連したセミナーや研修会に参加したことがあると回答した。

- ②①であるとお答えいただいた方、具体的なセミナー名や研修名、また参加された回数を教えてください

百十四研究所 ATコーディネーターガイド養成講座	1	1回
百十四研究所 ATガイド養成講座	1	1回

参加者のうち2名が、百十四研究所ATガイド養成講座に参加したと回答した。

- ③今回セミナーに参加するきっかけについてお答えください（複数回答可）

内容に興味があったため	7	100.0%
講師が有名だったため	0	—
今後ガイドとして取り組める内容であったため	4	57.1%
その他（知人の誘い）	1	14.3%

参加者全員が、内容に興味があったためと回答した。

- ④御社やご自身にとって、参考となる内容でしたか

大変参考になった	7	100.0%
参考になった	0	—
少し参考になった	0	—
あまり参考にならなかった	0	—

参加者全員が、大変参考になったと回答した。

11.受入環境整備

ガイド育成セミナーアンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド育成セミナーアンケート結果

⑥セミナー1部（各講演者の講話）の講演内容の理解度についてお答えください

よく理解できた	7	100.0%
どちらかという理解できた	0	—
あまり理解できなかった	0	—
全く理解できなかった	0	—

参加者全員が、よく理解できたと回答した。

⑦セミナーの時間についてお聞かせください

半日程度の時間があつた方がよい	2	28.6%
もう少し時間があつた方がよい	1	14.3%
ちょうど良い	4	57.1%
長すぎる	0	—

参加者の半数が、ちょうど良いと回答した。

⑧欧米豪富裕層が求めるガイド像について、どの程度関心がありますか

非常に関心がある	6	85.7%
関心がある	1	14.3%
あまり関心がない	0	—
全く関心がない	0	—

参加者全員が、関心があると回答した。

⑨欧米豪富裕層が求めるガイド像の中で、重要だと感じるものはどれですか
（複数回答可）

おもてなしの心	6	85.7%
臨機応変な対応力	7	100.0%
語学力	3	42.9%
コミュニケーション能力	7	100.0%
お客様視点でのガイディング	5	71.4%
インタープリテーション能力（伝える力）	4	57.1%
スケジュール通りに実行する正確さ	3	42.9%
お客様の立場に立つ考え方	6	85.7%

参加者全員が、臨機応変な対応力、コミュニケーション能力が重要だと回答した。

⑩その他お気づきの点などありましたらご記入ください

- ・お二方とも非常に為になるお話、また情熱を感じ大変良い刺激、知識をいただけて受講させていただけてよかったです
- ・とってもよい講習でした。
- ・具体的で、実際のエピソードや体験が聞けたので、本当に参考になりました。
- ・今後の研修も楽しみにしております。
- ・定員の少ない講座だったので、受講の可否がもう少し早く知りたかった。
- ・先着順にもよりますが、秋に行われる実地研修はツーリズム関連の研修に色々参加したいので、予定が重複し研修不参加となることがありますが極力参加したい。
- ・実地研修の方も期待しております。

12.受入環境整備

__体験型プログラムガイド実地研修

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド実地研修

旅行商品として取り上げる観光資源等の現場にて、旅行商品や観光地の知識向上、誘客対象客から想定される要望とその対応、経験値から得られる柔軟性向上のスキルアップに繋げるため、体験型ガイド育成研修を4回開催し、実地研修の現場では、欧米豪富裕層旅行者へのガイド経験豊富なスタッフを講師として招請し実施した。

講師は欧米豪富裕層向け四国DMC「Discover Shikoku」マネージングディレクターのBrect William Sean氏を招請し、欧米豪富裕層旅行者が求める価値観やガイド像について実地研修を実施した。参加者の募集は、本事業で9月26日に開催したガイド育成セミナーへの参加者及び四国通訳案内士・四国遍路ガイドの会などのネットワークを通じて実施。また、参加者に対して事後アンケートを実施した。

【実地研修1回目】

実施日：2021年11月20日（土）

参加者：9名

研修地：徳島県上勝町 ゼロウェイストセンター、Kinof他

スケジュール

JR高松駅（9:00発）＝板野IC＝道の駅いたの（途中乗車）＝JR徳島駅（途中乗車）＝徳島県上勝町：カフェポールスター〔昼食〕・Kinof〔土に戻る素材研修〕・RISE&WIN Brwing〔クラフトビール見学〕・ゼロウェイストセンター・ホテルWHY〔ゴミ分別環境問題取組み説明〕＝JR徳島駅＝道の駅いたの＝JR高松駅（19:00着）

【実地研修2回目】

実施日：2021年11月28日（日）

参加者：8名

研修地：香川県高松市 仏生山町～八栗寺サイクリング他

スケジュール

八栗ケーブル前（8:20発）＝JR高松駅（途中乗車）＝高松市仏生山町：サイクリング（法然寺～實相寺～清水神社～眞楽寺～蓮勝寺～蔵王神社～川西神社～池戸八幡神社～caféそらのいろ〔昼食〕～久本古墳～荒神社～妙覚寺～神節王墓～八栗ケーブル）・・・四国霊場第85番札所八栗寺〔参拝〕・・・八栗ケーブル駐車場（15:30着）

【実地研修3回目】

実施日：2021年12月19日（日）

参加者：8名

研修地：香川県高松市 高松駅周辺から丸亀町商店街裏路地他

スケジュール

JR高松駅（10:00発）＝高松市内町歩き（丸亀町商店街・裏路地・ことでん瓦町駅周辺）〔外国人旅行者が興味を抱く目線・価値観の体験〕＝JR高松駅（15:00着）

【実地研修4回目】

実施日：2022年 1月10日（月）

参加者：8名

研修地：徳島県吉野川市 大島酒造、たねのや、阿波紙ファクトリー他

スケジュール

JR高松駅（8:00発）＝高速道路志度駐車場（途中乗車）＝道の駅いたの（途中乗車）＝JR徳島駅（途中乗車）＝徳島県吉野川市：大島酒造〔古民家による梅酒蔵見学・テイastingとダイニングのロケーション見学〕・たねのや〔廃校利用の民泊レストラン：昼食〕・美郷物産館〔売店・土産物見学〕・阿波紙ファクトリー〔伝統産業和紙作り体験〕＝JR徳島駅＝道の駅いたの＝高速道路志度駐車場＝JR高松駅（18:40着）

12.受入環境整備

体験型プログラムガイド実地研修

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

講師のレクチャー内容

講師として招請した欧米豪富裕層向け四国DMC「Discover Shikoku」 マネージングディレクターの Brecht William Sean氏から参加者に対して、欧米豪富裕層旅行者が求める価値観やガイド像について説明をした内容は以下の通り。

【考え方について】

- ・大前提として「お客様が全て」という意識を持つこと。
- ・一般的な旅行は行程（スケジュール）を旅行会社が作り、ガイドはそのスケジュール通りに進めようとする意識が高いが、欧米豪富裕層をガイドする際には旅行会社が作成した決められた行程を進めることが重要ではなく、お客様のご要望に合わせて、都度スケジュールは変更されるものである。何よりもお客様に合わせなければならない。
- ・今したいこと、ここでしかできないことを求められる要望がほとんどである。
- ・すべての判断基準はお客様であり、お客様の表情・目線・発言内容から気持ちを読み取るスキルが必要。
- ・ガイドとして持っている知識をお客様に説明するスタイルは間違っている。お客様から求められたら質問に対して答えればよい。ガイドとお客様という壁を作るのではなく、お客様の友人という関係を築き、共に考え、共に楽しむことが大切。
- ・観光地などの表面的に見えている綺麗な箇所だけを説明するのではなく歴史背景などのバックストーリーを伝えると喜ばれる。観光施設に関する情報は、インターネットで調べることができるためガイドからの説明は最小限でよく、施設の紹介よりも施設の人やその地の人から直接話が聞ける一般的に出回っていない情報に興味を持たれ、喜ばれる。
- ・旅行は楽しむもの。ガイドの緊張や硬い形式にとらわれた対応になるとお客様はリラックスできない。ガイド自身がリラックスできるよう、服装はスーツでなくカジュアルウェアがよい。
- ・欧米の富裕層は我慢をしない。お客様がしたいこと・見たいもの・味わいたいものなどの要望があれば可能な限り対応をする必要がある。この時点で元々のスケジュールは白紙に戻るが、旅行会社が作成した行程はその場のお客様の要望に反するため、キャンセル連絡等、手配先に速やかに連絡を行う。

※過去に実際にあった事例として、香川県の豊島滞在中での夕食時に、当初スケジュールでは翌日の観光は小豆島へ行く予定であったが、旅行者から広島県の宮島に行きたいと要望があり、急遽翌日のスケジュールを変更した。宿泊先・船・タクシー等すべての手配先にキャンセル連絡と宮島での宿泊・食事等新たな手配先を即予約をした。キャンセル料金はお客様負担でお支払いただいたが、お金に関しては問題ではなく、ご要望に対応できたことで旅行者から満足を得られた。

- ・一般的に四国での観光は訪日旅行の最終観光地（東京→金沢→京都→四国の順）になることが多いため、和食には飽きている旅行者が多い。日本の旅館では、朝食に和食を提供をされることがほとんどであるため、四国滞在中には朝食でトーストを提供していただく等、旅館に交渉が必要。
- ・欧米豪富裕層がイメージする日本は、昭和30年代の自然に囲まれた田舎の風景であることが多いため人工的に作られた観光施設や景色よりも田園風景や山・川といった自然を見せると喜ばれる。

【参加者からの質問】

- ・四国には5ツ星のホテルがないため、富裕層の受入対応ができないのではないかと。
→四国ならではの田舎での古民家宿泊、その中で特別シェフの用意や貸切利用などの対応で満足を得ることができるため、5ツ星がなくても対応は可能。
- ・お客様の要望に合わせて行程変更した際、キャンセル料はどうなるのか。
→キャンセルポリシーはお客様に伝える。お客様の要望に対して応える形であるため、キャンセル料を支払っていただくことに対してトラブルは発生しない。
- ・ガイドが話すマニュアルはないか。
→マニュアルは存在しない。お客様は年齢も性別も趣味も考え方も異なる。マニュアルがあるとガイドはそれに従おうとしてしまうため、お客様の考えと異なるガイディングの勘違いに繋がる。自身の体験・観光施設や地域の人との繋がりを活用してお客様の要望に応えることが大切。
- ・お客様の要望を先読みして段取りしておくことは必要か。
→あらかじめ想定されるリスクが分かっているのであれば事前に準備する必要がある。今のお客様の考えや要望は状況ごとに変化するため、都度対応をすればよい。

12.受入環境整備

__体験型プログラムガイド実地研修

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド実地研修の様子

【実地研修1回目】 実施日：2021年11月20日（土）



ガイド講師による説明
【バス車内】



Kinofスタッフによる説明
【ポールスターカフェ】



近隣散策時のガイディングポイント説明の様子
【月ヶ谷温泉近隣】



ホテルWHY説明の様子



ゼロ・ウェイストセンター説明（左）と
欧米豪旅行者に対する対応説明（右）の様子



RISE&WIN
説明ポイントレクチャー

【実地研修2回目】 実施日：2021年11月28日（日）



E-bike操作方法レクチャーの様子
【仏生山 法然寺前】



昼食の様子
【cafe SORAのいろ】

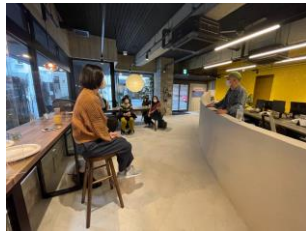


岡山神社周辺から見える
屋島・八栗・男木島などの様子

【実地研修3回目】 実施日：2021年12月19日（日）



高松駅より高松市内ウォーキングの様子



座学の様子
【穴吹トラベル事務所にて】



香川県庁など香川県の
主要見どころを散策

【実地研修4回目】 実施日：2022年1月10日（月）



大島酒造まで
約1kmウォーキングの様子



梅酒のテイスティングの様子
【大島酒造】



座学の様子
【阿波和紙の歴史について】



阿波和紙体験の様子
【阿波紙ファクトリー】

13.受入環境整備

ガイド実地研修アンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド実地研修アンケート

ガイド実地研修参加者に対して、育成方法の確認や解決していない質問に対応するためにアンケートを実施した。

アンケート回収率は100%であった。（参加者33名、アンケート回答者33名）

アンケート回答結果は以下の通りであるが、実地研修合計4回の合計分で記載している。

①所属先を教えてください

四国遍路ガイドの会	11	34%
フリーランス	10	30%
穴吹トラベル	4	13%
ツーリズム徳島	3	9%
JTMとくしま日本語ネットワーク	2	6%
香川大学	1	3%
Your Tourguide	1	3%
高松市役所	1	3%

②ガイド案内に必要と思われるお持ちの資格があればご記入ください

全国通訳案内士	4	21%
地域通訳案内士	4	21%
香川せとうち地域通訳案内士	4	21%
四国霊場会公認先達	4	21%
国内ツアーコンダクター	3	16%

③性別についてお答えください

男性	12	36%
女性	21	64%

④ご年齢（年代）についてお答えください

20代	0	—
30代	9	27%
40代	10	30%
50代	7	21%
60代	5	15%
70代	2	6%

⑤研修全体の内容についてお答えください

非常に良かった	21	64%
良かった	12	36%
ほぼ期待通り	0	—
普通	0	—
期待外れだった	0	—

参加者全員が、良かったと回答した。

13.受入環境整備

ガイド実地研修アンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド実地研修アンケート

⑥講師（SEAN氏）の説明についてお答えください

非常に良かった	21	64%
良かった	12	36%
ほぼ期待通り	0	—
普通	0	—
期待外れだった	0	—

参加者全員が、良かったと回答した。

⑦養成講座のレベルについてお答えください

非常に良かった	18	55%
良かった	13	39%
ほぼ期待通り	2	6%
普通	0	—
期待外れだった	0	—

参加者のうち94%が、良かったと回答した。

⑧今回以外に、過去に欧米豪富裕層旅行者向けガイド現地研修に参加したことがありますか

ある	9	27%
ない	24	73%

参加者のうち70%以上は、ないと回答した。

⑨⑧であるとお答えいただいた方、具体的なセミナー名や研修名、また参加された回数を教えてください

百十四経済研究所主催のAT（アドベンチャーツアー）ガイド養成講座	3	1回
富裕層旅行者が求めるガイド像 （Laurenさんと旅館くらしき中村女将の話）	3	1回
今回の現地研修1・2回目	4	2回

本事業での研修が2種類、別事業等での研修が1種類という結果であった

⑩今回の研修に参加するきっかけについてお答えください（複数回答可）

内容に興味があったため	31	94%
今後ガイドとして取り組める内容であったため	23	70%
自身の仕事に役立てる為	22	67%
訪問先に興味があったため	9	27%

参加者のうち半数以上が、内容に興味があったため、今後ガイドとして取り組める内容であったため、自身の仕事に役立てる為、と回答した。

13.受入環境整備

ガイド実地研修アンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド実地研修アンケート

⑪日本人向けのガイド経験についてお答えください

本業である	11	30%
ボランティアガイド経験がある	14	42%
ない	9	27%

参加者のうち30%が、本業であると回答した。

⑫上記で「本業」、「経験がある」とお答えいただいた方、回数等をお聞かせください

眉山山頂でのボランティアガイドは何十回
瀬戸内国際芸術祭2019オフィシャルツアーガイド20回以上
瀬戸芸の際に、オフィシャルツアーのガイドとして、日本人と外国人の混合グループを幾つかの島に案内
「藍よしのがわトロッコ列車」(月2)
月2回
2ヶ月1回程度
ガイド研修のガイド(講師)など数回
「るりこんバス」(昨年期間限定 6-7回)

⑬外国人向けのガイド経験についてお答えください

本業である	11	33%
ボランティアガイド経験がある	14	42%
ない	8	24%

参加者のうち33%が、本業であると回答した。

⑭上記で「本業」、「経験がある」とお答えいただいた方、回数等をお聞かせください

2ヶ月1回程度
これからたくさん経験積みたいので、まだあまりありません
穴吹トラベルの仕事
月1~3回程度(コロナ前)
年2回(これからやろうと思っていたら、コロナになってしまいました。)

13.受入環境整備

ガイド実地研修アンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド実地研修アンケート

⑮インバウンドガイドを仕事にする上で下記の中から何か課題はございますか
(複数回答可)

ガイドの経験値	22	67%
仕事をする機会・チャンス	19	58%
語学スキル	19	58%
ガイドスキル	18	55%
お遍路の知識	13	39%
収入の不安定さ	11	33%
家庭や本業との両立	8	24%
体力	7	21%
日本文化の知識	6	18%
資格	1	3%
観光案内の知識	0	－
どう始めればよいか分からない	0	－

参加者のうち半数以上が、ガイドの経験値、仕事をする機会・チャンス、語学スキル、ガイドスキルが課題であると回答した。

⑯ご自身の語学（英語）スキルはどの位だと思われますか

日常会話レベルは問題ない	12	36%
専門用語以外は全く問題なく会話ができる	11	33%
全く問題ない	8	24%
ヒアリングに問題はないが、話す自信がない	1	3%
相手が何を言っているかよく分からない	1	3%
挨拶レベル（単語を並べて何とか話せる）	0	－

参加者のうち半数以上が、専門用語以外であれば問題なく会話ができるレベルであると回答した。

13.受入環境整備

ガイド実地研修アンケート

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

ガイド実地研修アンケート

⑰語学以外にインバウンドガイドに必要なだと思うスキルを下記の中から5つお選びください

臨機応変さ	32	97%
相手の要望を読み取る力	28	85%
細やかな気配り	18	55%
ホスピタリティ	18	55%
安全管理	17	52%
笑顔・人柄	17	52%
面白さ	16	48%
親しみやすさ	15	45%
ローカルならではの特別な案内	14	42%
対人コミュニケーション	12	36%
行程管理	10	30%
日本文化の知識	9	27%
現地の詳細な観光知識	9	27%
知的会話	6	18%
体力	6	18%
専門知識	4	12%

参加者のうち半数以上が、臨機応変さ、相手の要望を読み取る力、細やかな気配り、ホスピタリティ、安全管理、笑顔・人柄であると回答した。

⑱その他お気づきの点などありましたらご記入ください

- ・講座を受講させていただいている我々も、おもてなしをいただいて恐縮でした。
- ・多くの富裕層を実際に案内してきたSeanの話はかなり勉強になりました。
- ・知らないところがたくさんあり、語学の方でも刺激を受けました。
- ・素晴らしい機会を提供いただきありがとうございました。
- ・Seanさんのガイドが素晴らしくて、とても学ぶことが多い研修でした。
- ・興味のあった上勝地域を訪れることができ、ますます素敵な場所だと感じ、色々な人に魅力を伝えたいと感じました。
- ・このような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。
- ・欧米富裕層じゃなくて、アジア圏富裕層も売り出して欲しいなと思います。
- ・日常風景が全く違って見えました。
- ・今まで受けた研修とは全然違う内容で、大変勉強になりました。
- ・出来れば細い道や草の生えた道などは避けて頂けたら嬉しいです。
- ・アップダウンがある地形で、絶景のビューポイントなどがあり、とても楽しい行程でした。
- ・普段なら通り過ぎる景色も、見方を変えることで深く知ることができ魅力が増した。
- ・何気ない日常の風景でも捉え方によって観光らしく伝えることが出来そう。
- ・講師との交流の時間が多く、大変友好的に意識改善ができた。
- ・参加回数を増すごとに理解ができている自分を実感できる。
- ・初めて目にする観光施設ばかりで、新しい情報を得ることができた
- ・今回知った観光情報をお客様に伝えるために更に勉強が必要であると感じた。
- ・富裕層の旅行者が求める対応や観光施設との触れ方の理解度が増した。

14.事業KPI

__アウトプット・アウトカム

広域周遊観光促進のための地域観光支援事業
お遍路×SDGs×アドベンチャートラベルをフックとした誘客促進事業

アウトプット

	項 目	目 標	成 果
滞在コンテンツ 造成事業	体験コンテンツ数	8件	8 件
	旅行商品造成数	4商品	4商品
	旅行会社やネイティブ人材招請数	2社（2名）	2社（2名）
旅行商品流通 環境整備事業	OTA への旅行商品掲載	4件	4件
受入環境整備 事業	『SDGsや外国人専門家による「欧米豪富裕層が求める価値観・現地受入対応やガイド像」講演』	2回 （参加者60名）	2回 （参加者118名）
	体験プログラム等のガイド実地研修	4回程度 （参加者10名）	4回 （参加者延べ33名） ※参加者実数17名

新型コロナウイルスのワクチン接種時期と重なり、ガイド育成セミナーの参加者が目標を下回ったが、その他の全項目について当初目標を達成した。

アウトカム

	項 目	目 標	成 果
滞在コンテンツ 造成事業	新規造成コンテンツ販売数	20件	0件
	旅行商品販売額	1,000万円	0円
	販売額の増加額	516万円	0円
旅行商品流通 環境整備事業	旅行商品販売額	1,000万円	0円
	販売額の増加額	516万円	0円
受入環境整備 事業	ガイド付きツアーへの対応ガイド数	10名	10名
	ガイド付きツアー利用者数	20名	0名
	地域セミナー受講者が他の会議、セミナーや 討論会等で共有した件数 ※参加者への事後アンケートによりヒアリング	15件	14件

滞在コンテンツ造成事業のアウトカム（3項目）、旅行商品流通環境整備事業のアウトカム（2項目）、受入環境整備事業のアウトカムのうち「ガイド付きツアー利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンド旅行者が日本に訪れることがなく、事業期間内に販売に繋げることができなかった。
次年度以降も販売を継続実施する。

総括

現在、新型コロナウイルスによる外出や営業自粛が続く中、依然として観光業界は大きな打撃を受けている。このような状況を受け、国内においても、ウィズ・アフターコロナにおける訪日旅行の復興を目指して安全なコンテンツを造成することが求められると考えられる。

今回造成したサステナブル&AT&お遍路コンテンツを国内居住者（在日外国人も含む）を主なターゲットとし、落ち込んだ観光・旅行需要を喚起し、地域経済を活性化させるため、新たな生活様式に沿ったスタイルで造成することを検討する。

また、養成講座で育成したガイドの実践の場を継続的に維持することが課題であるとする。ガイドの育成は、座学が十分に実施できている一方で、リアルな実践ができる座組を検討したい。

■関係者が一体となって取り組める環境整備

これまでの事業を通じて、富裕旅行市場を開拓する上で、四国は極めて高いポテンシャルを持っていると感じることができた。長い歴史を背景とする伝統文化をはじめ、富裕旅行者が好む現代アートなどの芸術、建築、工芸、デザインのレベルも高く、さらに、食の水準は、地方にも五感を刺激する魅力的で多様な食文化が存在し、すでに個別に実施している取り組み等を有効活用することで、四国が有するサステナブル推進のポテンシャルを現実化していく方向性が適切であることが確認できた。

引き続き、四国の民間事業者関係者のみならず、在日外国人などの地域住民が一体となって環境づくりに取り組むことが必要になる。

旅慣れた富裕層の多くは、実際に旅行に訪れた仲間や家族からの口コミやSNSを通じて、『日本の地方には、魅力あふれる美しい風景と地域特有の文化がある』と気づき始めている。今回招いた富裕旅行者の旅行アレンジを行うOKUNIローレン氏からも、『四国は魅力的なエリアが多い』という声も聞かれるように、それほど多様性豊かで、まだ知られていない『美しい四国』が数多くあるということである。

海外の富裕層たちは、家族や仲間たちと価値ある時間・体験を共有し、豊かなQuality of Lifeを求めて日本へやってくる。四国が持つポテンシャルを最大限に生かすためには、従来型のマストツーリズムの観光コンテンツではなく、『本物』を提供する独創的なコンテンツの開発に加え、アドベンチャートラベルに伴うストーリー性を持った説明やフレキシブルな対応が可能なガイド育成に継続して取り組む必要があると感じた。

■連帯意識の発展を促す

四国として、実効性の高いサステナブルを推進していくには、行政機関や地域の事業者間はさることながら、住民等も含めた地域の力を結集することが不可欠である。

そのためには、幅広い関係者同士で意見を出し合い、四国にふさわしいサステナブルツーリズムについてのあるべき姿と、各自の考え方や行動の拠り所となり、足並みを合わせる基準となる「コンセプト」を作成する必要がある。この作業を通じて、地域が一体となってサステナブルな地域の推進を成し遂げるという共通意識の発展を促すことになる。

■具体的な事業の実施

今後、四国においては訪日外国人旅行者が拡大し、さらに今後も2025年開催の大阪万博を控え、クルーズ客船等の誘致拡大が進むことが予測される中、関係者は、この好機を逸することなく、訪日外国人旅行者等の消費拡大、満足度向上を図るための取り組みを進めることの重要性を認識する必要がある。そして、まずは小さくても実践的な事業から手掛け、成功事例を数多く作ることが重要である。

取り組みにあたっては、関係者全員が、今までのように「できない理由」を探すのではなく、未来志向で「なりたい姿」を目指すという意識のもと、協力して取り組むことが必要である。

受託事業者：株式会社 穴吹トラベル

〒760-0025 高松市古新町2番1号 アルファレガロ古新町1F
TEL 087-823-1666 FAX 087-823-1150